



- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. 本書の構成
 - 2.4. 本書の設定
- 3. ViewCreator / IM-Workflow を連携する
 - 3.1. サンプル1 特定のフローの完了案件一覧を作成する
 - 3.2. サンプル2 フロー別の滞留案件の一覧を作成する
 - 3.3. サンプル3 ユーザ別の滞留案件の一覧を作成する
 - 3.4. サンプル4 処理対象者が不在の案件一覧を作成する
 - 3.5. サンプル5 月別の案件推移グラフを作成する
- 4. ViewCreator / IM-BIS を連携する
 - 4.1. サンプル6 BAM情報からノード別の平均作業時間の一覧を作成する
 - 4.2. サンプル7 BAM情報から担当者別の平均作業時間の一覧を作成する
 - 4.3. サンプル8 BAM情報から月別の平均作業時間の一覧を作成する
- 5. ViewCreator / IM-FormaDesigner を連携する
 - 5.1. サンプル9 Formaアプリの登録データの一覧を作成する
- 6. 付録
 - 6.1. ViewCreator の設定データダウンロード
 - 6.2. IM-BIS のフローの案件データのテーブル情報を確認する
 - 6.3. アプリケーションのテーブル情報を確認する
 - 6.4. IM-Workflow の詳細画面への遷移URL
 - 6.5. IM-BIS の履歴画面への遷移URL

変更年月日	変更内容
2015-04-01	初版
2015-12-01	第2版 下記を変更・追加しました。 「IM-Workflow の詳細画面への遷移URL」にワークフローの詳細画面への遷移可能な権限の説明を追加しました。 「IM-BIS の履歴画面への遷移URL」にワークフローの詳細画面への遷移可能な権限の説明を追加しました。

本書の目的

本書は ViewCreator / IM-Workflow / IM-FormaDesigner / IM-BIS の連携、活用方法について、サンプルを用いて説明します。

コラム

本書で説明する連携方法、およびサンプルは活用方法の1つとして提示させて頂いております。
連携方法、サンプル、およびサンプルのカスタマイズに関する問い合わせに関しては、回答できかねますのでご了承願います。

コラム

本書で説明する連携方法、およびサンプルは未完了案件20万件、完了案件20万件のデータが存在する想定で、動作を確認しています。
ただし、パフォーマンスに関しては環境等の違いがあるため、保証するものではありません。
必ずお客様の検証環境で検証のうえ、利用してください。

対象読者

本書は、IM-Workflow など各種アプリケーションのデータを ViewCreatorから一覧を作成する活用例を紹介しております。
本書での活用例は、「ViewCreator」「IM-Workflow」「IM-FormaDesigner」「IM-BIS」に関する基本操作を理解していることを前提としています。
各種アプリケーションの基本操作に関しては、関連ドキュメントを参照してください。

- [ViewCreator 管理者操作ガイド](#)
- [IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)
- [IM-FormaDesigner 作成者操作ガイド](#)
- [IM-BIS 業務管理者操作ガイド](#)

本書の構成

- [ViewCreator / IM-Workflow を連携する](#)

ViewCreator、IM-Workflow を連携して活用する方法をご紹介します。

- [ViewCreator / IM-BIS を連携する](#)

ViewCreator、IM-BIS を連携して活用する方法をご紹介します。

- [ViewCreator / IM-FormaDesigner を連携する](#)

ViewCreator、IM-FormaDesigner を連携して活用する方法をご紹介します。

- [付録](#)

サンプルの ViewCreator の設定データとサンプル作成手順の補足情報をまとめています。

本書の設定

本書では、以下の設定の環境を前提として説明しております。

- intra-mart Accel Platform 2015 Spring (Advanced Edition)
- IM-FormaDesigner for Accel Platform 2015 Spring
- IM-BIS for Accel Platform 2015 Spring

ViewCreator / IM-Workflow を連携して活用する方法をご紹介します。

サンプル1 特定のフローの完了案件一覧を作成する

IM-Workflow の特定のフローに対し、完了案件一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルでできること
- このサンプルで参照するテーブルの情報
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

このサンプルについて

このサンプルでは、IM-Workflow と IM-FormaDesigner で作成した特定のフローに対する完了案件の一覧を ViewCreator で作成します。

作成した一覧の項目に、ワークフローの案件へのリンクを設定すると、リンクから案件の詳細画面を表示することができます。

本項では、Formaアプリケーションのサンプルとして登録されている「【サンプル】稟議書」のフローを例として、完了案件の一覧を作成します。

【サンプル1】特定フロー完了案件一覧

特定のフローの完了案件一覧を表示

任意の項目を表示できます
表示項目に対し、サマリやグラフの表示も可能です

案件番号をクリック

案件番号	案件名	稟議番号	稟議件名	支払金額
0000000016	【サンプル】稟議書	0123	書籍代	2900
0000000008	【サンプル】稟議書	001		
0000000013	【サンプル】稟議書	003		

稟議書

案件の詳細画面を表示

稟議番号: 0123

稟議件名: 書籍代

支払金額: 2,900 円

支払方法: ☒ 現金 ☐ 銀行振込 ☐ リース

参考資料の購入

稟議内容:

成果予測:

参考資料: ファイル名 備考 更新日

このサンプルでできること

- ViewCreator から IM-Workflow の詳細画面を表示するリンクを張ることができます。
- IM-Workflow の特定のフローに対し、任意項目を表示し、サマリやグラフの表示ができます。

i コラム

サマリ集計やグラフ集計の詳細な設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- アプリケーションのテーブル (imfr_ut_%アプリケーションID%)
メインフォームに配置した画面アイテムの入力データを格納するテーブルです。
案件毎に1レコード作成されます。

カラム	説明
データ登録ID (insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのIDです。 完了案件テーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
画面アイテム入力値 (imfr_ud_%フィールド識別ID%)	各画面アイテムにて入力、または選択された値を保持します。

- 完了案件テーブル (imw_t_cpl_matter)
完了案件情報を格納するテーブルです。
案件毎に1レコード作成されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID (insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのID です。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
案件番号 (matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日 (apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

i コラム

アプリケーションのテーブル名の確認方法は、「[アプリケーションのテーブル情報を確認する](#)」を参照してください。

i コラム

IM-Workflow のテーブル定義情報の詳細は、「[IM-Workflow テーブル定義書](#)」を参照してください。

クエリを作成する

IM-Workflow の特定のフローの完了案件に対応するクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリー一覧」をクリックします。
2. 「クエリー一覧」で「新規」をクリックします。

クエリ一覧

新規 コピー 削除 データ参照へ

検索 クリア

データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
	ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
	system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
	transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
	【サンプル1】特定フロー完了案件クエリ	5iemao7u3kedu	default	2015/03/02 15:54	aoyagi	
	【サンプル2】フロー別滞留案件・処理	5ienf2wviu2i3a5	default	2015/03/03 14:25	aoyagi	
	【サンプル3】ユーザ別滞留案件一覧	5iemg5v1dkby7a5	default	2015/03/03 14:26	aoyagi	
	【サンプル4】処理対象者不在案件	5ienf2v7loxdia5	default	2015/03/02 10:13	aoyagi	

3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

クエリ編集

新規作成 削除 SQL SQLの表示 Viewの作成 プレビュー

クエリ名(*) 【サンプル1】特定フロー完了案件クエリ

説明 特定のフローの完了案件の一覧です。

接続ID default

テーブル一覧

テーブル ビュー

b_m_account_attr_b
b_m_account_b
b_m_account_dtf
b_m_account_role_b
b_m_account_theme
b_m_calendar_info_b
b_m_calendar_info_i
b_m_calendar_merge_b
b_m_calendar_week_b
b_m_day_info_b
b_m_day_info_i
b_m_day_info_set_b
b_m_day_info_set_i
b_m_link_category

抽出条件一覧(0) カラム一覧(0)

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imw_t_cpl_matter	system_matter_id	文字列		システム案件ID

4. 「テーブル一覧」から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。

- imfr_ut_sample_ringi
- imw_t_cpl_matter

クエリ編集

新規作成 削除 SQL SQLの表示 Viewの作成 プレビュー

クエリ名(*) 【サンプル1】特定フロー完了案件クエリ

説明 特定のフローの完了案件の一覧です。

接続ID default

テーブル一覧

テーブル ビュー

b_m_account_attr_b
b_m_account_b
b_m_account_dtf
b_m_account_role_b
b_m_account_theme
b_m_calendar_info_b
b_m_calendar_info_i
b_m_calendar_merge_b
b_m_calendar_week_b
b_m_day_info_b
b_m_day_info_i
b_m_day_info_set_b
b_m_day_info_set_i
b_m_link_category

imfr_ut_sample_ringi

imw_t_cpl_matter

抽出条件一覧(0) カラム一覧(0)

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imw_t_cpl_matter	system_matter_id	文字列		システム案件ID

5. 配置したテーブルを下記の通りに結合します。

- imfr_ut_sample_ringi、imw_t_cpl_matter
 - データ登録ID (imfr_sd_insert_id)

- ユーザーデータID (user_data_id)

6. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。

一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imfr_ut_sample_ringi
 - データ登録ID (imfr_sd_insert_id)
 - その他に一覧に表示したい項目に対応する入力項目のカラム
- imw_t_cpl_matter
 - システム案件ID (system_matter_id)
 - 案件番号 (matter_number)
 - 案件名 (matter_name)
 - 申請基準日 (apply_base_date)

7. 追加が終わったら「登録」をクリックします。

クエリ編集

新規作成 削除 SQL SQLの表示 Viewの作成 プレビュー

クエリ名(*) 【サンプル】特定フロー完了案件クエリ

説明 特定のフローの完了案件の一覧です。

接続ID default

テーブル一覧

テーブル ビュー

b_m_account_attr_b
b_m_account_b
b_m_account_dtf
b_m_account_role_b
b_m_account_theme
b_m_calendar_info_b
b_m_calendar_info_i
b_m_calendar_merge_b
b_m_calendar_week_b
b_m_day_info_b
b_m_day_info_i
b_m_day_info_set_b
b_m_day_info_set_i
b_m_link_category

imfr_ut_sample_ringi

imfr_sd_insert_id
imfr_sd_application_id
imfr_sd_application_no
imfr_sd_version_no
imfr_sd_create_date
imfr_sd_create_user_cd
imfr_sd_record_date

imw_t_cpl_matter

system_matter_id
flow_id
flow_version_id
user_data_id
matter_number
matter_name

抽出条件一覧(0) カラム一覧(0)

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imw_t_cpl_matter	system_matter_id	文字列		システム案件ID
imfr_ut_sample_ringi	imfr_sd_insert_id	文字列		データ登録ID
imw_t_cpl_matter	matter_number	文字列		案件番号
imw_t_cpl_matter	matter_name	文字列		案件名

登録 データ参照新規作成

8. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

i コラム

案件数が多くリスト集計の表示に時間がかかる場合は、抽出条件を設定することで改善する可能性があります。「抽出条件一覧」で申請基準日を条件に追加すると、リストに表示する案件のデータ数を制限することができます。また、申請基準日を条件に追加して改善しない場合、該当カラムにインデックスの設定を検討してください。

説明 特定のフローの完了案件の一覧です。

接続ID default

テーブル一覧

テーブル ビュー

b_m_account_attr_b
b_m_account_b
b_m_account_dtf
b_m_account_role_b
b_m_account_theme
b_m_calendar_info_b
b_m_calendar_info_i
b_m_calendar_merge_b
b_m_calendar_week_b
b_m_day_info_b
b_m_day_info_i
b_m_day_info_set_b
b_m_day_info_set_i
b_m_link_category

imfr_ut_sample_ringi

imfr_sd_insert_id
imfr_sd_application_id
imfr_sd_application_no
imfr_sd_version_no
imfr_sd_create_date
imfr_sd_create_user_cd
imfr_sd_record_date

imw_t_cpl_matter

system_matter_id
flow_id
flow_version_id
user_data_id
matter_number
matter_name

抽出条件一覧(2) カラム一覧(0)

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
imw_t_cpl_matter	apply_base_date	以上	<SYSTEM_DATE(yyyy/mm/dd)>
imw_t_cpl_matter	apply_base_date	未満	<SYSTEM_DATE(yyyy/mm/dd)>

リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

リストに表示する項目から IM-Workflow の詳細画面を表示できるように、リンクを設定します。

1. クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

b_m_calendar_week_b

b_m_day_info_b

b_m_day_info_i

b_m_day_info_set_b

b_m_day_info_set_i

b_m_link_category

追加

削除

上へ

下へ

抽出条件一覧(2)

カラム一覧(8)

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
☐ imw_t_cpl_matter	system_matter_id	文字列		システム案件ID
☐ imfr_ut_sample_ringi	imfr_sd_insert_id	文字列		データ登録ID
☐ imw_t_cpl_matter	matter_number	文字列		案件番号
☐ imw_t_cpl_matter	matter_name	文字列		案件名

更新

データ参照新規作成

2. データ参照名などの情報を入力します。

データ参照・新規作成 リスト/サマリ集計

←

プレビュー

データ参照設定

データ参照コード*

viewcreator_sample1

データ参照名*

【サンプル1】特定フロー完了案件一覧

国際化データ

クエリ名

【サンプル1】特定フロー完了案件クエリ

集計パターン

リスト

説明

エクスポート機能の利用

☒ 利用する

表示設定

枠線

☒ 枠線を表示する

1行おきの背景色

表全体の幅

0px

ヘッダー行の改行

☐ 改行する

カラム一覧

計算式を追加

カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
システム案件ID(system_mette		☒	#	3桁区切り		

3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。
また、数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。

カラム一覧

計算式を追加

カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
システム案件ID(system_matter_id)		☐			imwSystemM	
データ登録ID(imfr_sd_insert_id)		☐			imwUserData	
案件番号(matter_number)	プログラム	☒				
案件名(matter_name)		☒				
稟議番号(imfr_ud_ringi_no)		☒				
稟議件名(imfr_ud_ringi_subject)		☒				
支払金額(imfr_ud_payment)		☒	#	3		

4. 案件番号のカラム「matter_number」から案件の詳細画面を表示できるように、リンクを設定します。
リンクを設定するために「matter_number」のタイプを「プログラム」に変更します。

10

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
システム案件ID(system_matter_id)		☐			imwSystemM	
データ登録ID(imfr_sd_insert_id)		☐			imwUserData	
案件番号(matter_number)		☒				プログラム
案件名(matter_name)		☒				
稟議番号(imfr_ud_ringi_no)		☒				
稟議件名(imfr_ud_ringi_subject)		☒				
支払金額(imfr_ud_payment)		☒	#	3		

5. リンク先として、IM-Workflow の詳細画面を呼び出すためのパスを設定します。

「」をクリックし、連携プログラムパスにリンクする IM-Workflow の画面のパスを入力し、「OK」をクリックします。

設定する画面 連携プログラムパス

詳細画面 im_workflow/common/switch/switch_content_detail

6. リクエストパラメータとして、連携先のプログラムへ渡すパラメータを設定します。

リクエストパラメータに固定値を追加するため、「計算式を追加」をクリックし、下図のように設定します。

7. パラメータ名を以下の通りに設定します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
システム案件ID(system_matter_id)		☐			imwSystemM	
データ登録ID(imfr_sd_insert_id)		☐			imwUserData	
案件番号(matter_number)	プログラム	☒				
案件名(matter_name)		☒				
稟議番号(imfr_ud_ringi_no)		☒				
稟議件名(imfr_ud_ringi_subject)		☒				
支払金額(imfr_ud_payment)		☒	# 桁区切り	3		
キャプション ページ種別		☐	# 桁区切り	3	imwPageType	

カラム	設定値
システム案件ID (system_matter_id)	imwSystemMatterId
データ登録ID (imfr_sd_insert_id)	imwUserDataId
ページ種別	imwPageType

i コラム

IM-Workflow の詳細画面へのリンクの詳細は、「IM-Workflow の詳細画面への遷移URL」を参照してください。

8. 一覧で自由に申請基準日の期間を設定して、表示する案件を検索できるように「検索設定」を以下のように設定します。

検索設定

追加

検索対象カラム	検索タイプ	検索条件デフォルト値	検索条件値・選択肢リスト
申請基準日(apply_base_date)	範囲検索	<%SYSTEM_DATE(yyyy/MM) - <%SYSTEM_DATE(yyyy/MM)	

1ページに表示する行数 50

ヘッダー fx

9. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。

参照権 追加

パス:

国際化データ

☐ ゲストユーザ ☐ 認証済みユーザ

更新して一覧へ戻る

10. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照してください。

サンプル2 フロー別の滞留案件の一覧を作成する

IM-Workflow のフロー別に、滞留案件の一覧を作成します。

- [このサンプルについて](#)
- [このサンプルでできること](#)
- [このサンプルで参照するテーブルの情報](#)
- [クエリを作成する（メイン画面）](#)
- [クエリを作成する（リンク先画面）](#)
- [リスト集計画面を作成する（リンク先画面）](#)
- [リスト集計画面を作成する（メイン画面）](#)

[このサンプルについて](#)

このサンプルでは、1週間以上処理が実行されていない案件の一覧を ViewCreator で作成します。
作成した一覧の項目にリンクを設定し、リンクから処理対象者の一覧を表示します。

【サンプル2】フロー別滞留案件一覧

← CSV出力

フロー別に未処理案件の件数を表示

フロー名	ノード名	案件番号(カウント)	案件名
+【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請	-	2	-
+【サンプル】住所変更申請	-	1	-
+ 1424840263498	-	2	-
+ Annotation	-	3	-
+ 稟議	-	2	-
		10	

フロー名をクリック

【サンプル2】フロー別滞留案件一覧

フローを選択することで、対象の案件を表示

フロー名	ノード名	案件番号(カウント)	案件名
☒ 【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請	承認	0000000010	【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請
☐ 【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請		0000000019	【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請
		2	

【サンプル2-sub】フロー別滞留

【サンプル2-sub】フロー別滞留案件一覧

CSV出力

1

処理対象者

青柳辰巳

萩本順子

原田浩二

林政義

生田一哉

片山聡

円山益男

大磯博文

関根千香

寺田雅彦

上田辰男

吉川一哉

案件名をクリック

処理中ノードの処理対象者一覧を表示

このサンプルでできること

- ViewCreator で作成した画面へのリンクを張ることができます。

このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- 未完了案件未完了タスクテーブル (imw_t_actv_task)
次に処理するワークフローのタスクが格納されるテーブルです。
処理待ちとなっているノードのタスクの情報が登録されます。
IM-Workflow の処理は、差戻後の承認のように、同一ノードに対して複数回処理することができます。
タスクテーブルには、ノード上で行われた処理がタスクとして登録されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
開始日 (start_date)	タスクが登録された日時です。

- 未完了案件テーブル (imw_t_actv_matter)

未完了案件情報を格納するテーブルです。

案件毎に1レコード作成されます。

作成されたレコードは、案件が完了すると削除され、完了案件テーブル (imw_t_cpl_matter) に対応するレコードが作成されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
フローID (flow_id)	フロー定義を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID (insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのID です。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
案件番号 (matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日 (apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 未完了案件案件ロケールテーブル (imw_t_actv_matter_locale)

ロケール毎に保持する情報を格納するテーブルです。

申請時点でロケール毎に1レコード作成されます。

フロー名を取得するために利用します。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ロケールID (locale_id)	ロケールを一意に特定するためのID です。
フロー名 (flow_name)	フロー名です。

- 未完了案件タスク処理対象者テーブル (imw_t_actv_executable_user)

処理対象者情報を格納するテーブルです。

未完了案件未完了タスクテーブルで処理待ちとなっているタスクに対する処理対象者情報が格納されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
ロケールID (locale_id)	ロケールを一意に特定するためのID です。
権限者名 (auth_user_name)	処理対象者名です。



コラム

テーブル定義情報の詳細は、「[IM-Workflow テーブル定義書](#)」を参照してください。

クエリを作成する（メイン画面）

メイン画面となる IM-Workflow の未完了案件に対してクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリー一覧」をクリックします。
2. 「クエリー一覧」で「新規」をクリックします。

クエリ一覧

新規 一覧 削除 データ参照一覧へ

検索 クリア

データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
	ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
	system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
	transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
	【サンプル1】特定フロー完了案件ク	5iemao7u3kedu	default	2015/03/02 15:54	aoyagi	
	【サンプル2】フロー別滞留案件・処理	5ient2wviu2i3a5	default	2015/03/03 14:25	aoyagi	
	【サンプル3】ユーザ別滞留案件一覧	5iemg5v1dkby7a5	default	2015/03/03 14:26	aoyagi	
	【サンプル4】処理対象者不在案件一	5ient2y7loxdja5	default	2015/03/02 10:13	aoyagi	

3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

クエリ編集

新規作成 削除 SQL SQLの表示 Viewの作成 プレビュー

クエリ名(*) 【サンプル2-1】フロー別滞留案件・処理対象者一覧クエリ

説明 フロー別の滞留案件・処理対象者の一覧クエリです。

接続ID default

テーブル一覧

テーブル ビュー

b_m_account_attr_b
b_m_account_b
b_m_account_dtf
b_m_account_role_b
b_m_account_theme
b_m_calendar_info_b
b_m_calendar_info_i
b_m_calendar_merge_b
b_m_calendar_week_b
b_m_day_info_b
b_m_day_info_i
b_m_day_info_set_b
b_m_day_info_set_i

4. 「テーブル一覧」から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。

- imw_t_actv_task
- imw_t_actv_matter
- imw_t_actv_matter_locale

クエリ編集

新規作成 削除 SQL SQLの表示 Viewの作成 プレビュー

クエリ名(*) 【サンプル2-1】フロー別滞留案件・処理対象者一覧クエリ

説明 フロー別の滞留案件・処理対象者の一覧クエリです。

接続ID default

テーブル一覧

テーブル ビュー

b_m_account_attr_b
b_m_account_b
b_m_account_dtf
b_m_account_role_b
b_m_account_theme
b_m_calendar_info_b
b_m_calendar_info_i
b_m_calendar_merge_b
b_m_calendar_week_b
b_m_day_info_b
b_m_day_info_i
b_m_day_info_set_b
b_m_day_info_set_i
b_m_link_category

imw_t_actv_task

system_matter_id
node_id
task_id
node_type
node_name
route_trace_id
status
start_date
auto_process_limit_date
auto_process_limit_type

imw_t_actv_matter

system_matter_id
flow_id
flow_version_id
user_data_id
matter_number
matter_name
matter_start_date
file_dir_path

imw_t_actv_matter_locale

system_matter_id
locale_id
flow_name
apply_auth_user_name
apply_execute_user_name
create_user_code

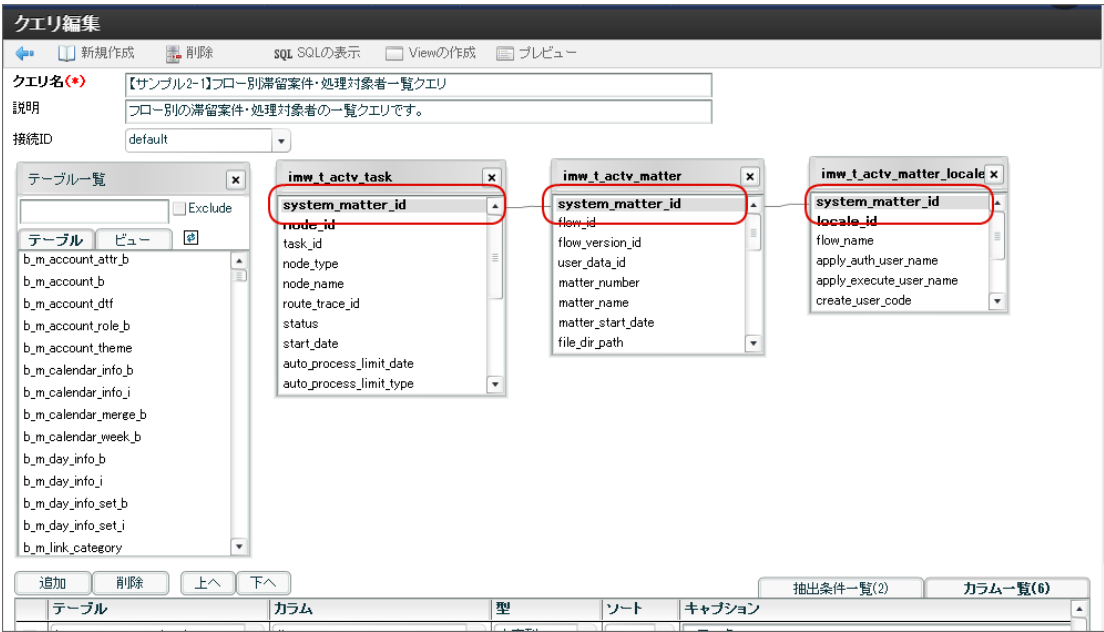
追加 削除 上へ 下へ

抽出条件一覧(2) カラム一覧(6)

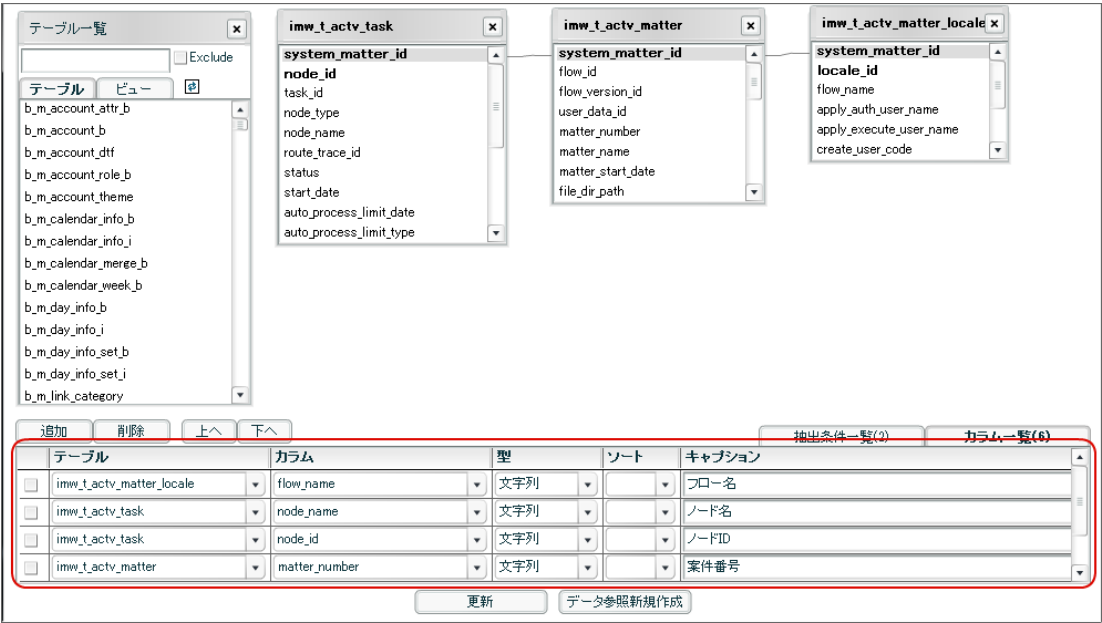
テーブル	カラム	型	ソート	キャプション

5. 配置したテーブルを下記の通りに結合します。

- imw_t_actv_task、imw_t_actv_matter
 - システム案件ID (system_matter_id)
- imw_t_actv_matter、imw_t_actv_matter_locale
 - システム案件ID (system_matter_id)



6. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。
- 一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。
- imw_t_actv_task
 - システム案件ID (system_matter_id)
 - ノードID (node_id)
 - ノード名 (node_name)
 - imw_t_actv_matter
 - 案件番号 (matter_number)
 - 案件名 (matter_name)
 - imw_t_actv_matter_locale
 - フロー名 (flow_name)



7. 「抽出条件一覧」に以下を追加します。

検索カラム	検索条件
ロケールID (locale_id)	ja 日本語を検索
開始日 (start_date)	<%SYSTEM_DATE(yyyy/MM/dd-7)%> 7日以上未処理のタスクを検索

テーブル一覧

imw_t_actv_task

imw_t_actv_matter

imw_t_actv_matter_locale

抽出条件一覧(2)

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
imw_t_actv_matter_locale	locale_id	完全一致	ja
imw_t_actv_task	start_date	以下	<XSYSTEM_DATE(yyyy/mm/dd-7)>

8. 追加が終わったら「登録」をクリックします。

抽出条件一覧(2)

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imw_t_actv_matter_locale	flow_name	文字列		フロー名
imw_t_actv_task	node_name	文字列		ノード名
imw_t_actv_task	node_id	文字列		ノードID
imw_t_actv_matter	matter_number	文字列		案件番号

登録

9. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

コラム

案件数が多くリスト集計の表示に時間がかかる場合は、抽出条件を設定することで改善する可能性があります。「抽出条件一覧」で申請基準日を条件に追加し、データ数を制限すること等を検討してください。また、申請基準日を条件に追加して改善しない場合、該当カラムにインデックスの設定を検討してください。

クエリを作成する（リンク先画面）

リンク先画面用のクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリー一覧」をクリックします。
2. 「クエリー一覧」で「新規」をクリックします。

クエリ一覧

新規 コピー 削除 データ参照一覧へ

検索 クリア

データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
	ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
	system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
	transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
	【サンプル1】特定フロー完了案件ク	5ilemao7u3kedu	default	2015/03/02 15:54	aoyagi	
	【サンプル2】フロー別滞留案件・処理	5lenf2wviu2i3a5	default	2015/03/03 14:25	aoyagi	
	【サンプル3】ユーザ別滞留案件一覧	5ilemg5v1dkby7a5	default	2015/03/03 14:26	aoyagi	
	【サンプル4】処理対象者不在案件一	5lenf2y7loxja5	default	2015/03/02 10:13	aoyagi	

3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

クエリ編集

新規作成 削除 SQL SQLの表示 Viewの作成 プレビュー

クエリ名(*) 【サンプル2-2】フロー別滞留案件・処理対象者一覧クエリ

説明 フロー別の滞留案件・処理対象者の一覧クエリです。

接続ID default

テーブル一覧

Exclude

テーブル ビュー

b_m_account_attr_b
b_m_account_b
b_m_account_dtf
b_m_account_role_b
b_m_account_theme
b_m_calendar_info_b
b_m_calendar_info_i
b_m_calendar_merge_b
b_m_calendar_week_b
b_m_day_info_b
b_m_day_info_i
b_m_day_info_set_b
b_m_day_info_set_i
b_m_link_category

追加 削除 上へ 下へ

抽出条件一覧(0) カラム一覧(0)

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
------	-----	---	-----	--------

4. 「テーブル一覧」から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。

- imw_t_actv_executable_user

クエリ編集

新規作成 削除 SQL SQLの表示 Viewの作成 プレビュー

クエリ名(*) 【サンプル2-2】フロー別滞留案件・処理対象者一覧クエリ

説明 フロー別の滞留案件・処理対象者の一覧クエリです。

接続ID default

テーブル一覧

Exclude

テーブル ビュー

b_m_account_attr_b
b_m_account_b
b_m_account_dtf
b_m_account_role_b
b_m_account_theme
b_m_calendar_info_b
b_m_calendar_info_i
b_m_calendar_merge_b
b_m_calendar_week_b
b_m_day_info_b
b_m_day_info_i
b_m_day_info_set_b
b_m_day_info_set_i
b_m_link_category

imw_t_actv_executable_user

system_matter_id
node_id
auth_user_code
locale_id
auth_user_name
invalid_flag

追加 削除 上へ 下へ

抽出条件一覧(0) カラム一覧(0)

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
------	-----	---	-----	--------

5. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。

一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imw_t_actv_executable_user
 - システム案件ID (system_matter_id)
 - ノードID (node_id)

■ 処理対象者名 (auth_user_name)

テーブル一覧

Exclude

テーブルビュー

b_m_account_attr_b

b_m_account_b

b_m_account_dtf

b_m_account_role_b

b_m_account_theme

b_m_calendar_info_b

b_m_calendar_info_i

b_m_calendar_merge_b

b_m_calendar_week_b

b_m_day_info_b

b_m_day_info_i

b_m_day_info_set_b

b_m_day_info_set_i

b_m_link_category

imw_t_actv_executable_user

system_matter_id

node_id

auth_user_code

locale_id

auth_user_name

invalid_flag

追加削除

上へ下へ

抽出条件一覧(3)

カラム一覧(3)

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
☐ imw_t_actv_executable_user	system_matter_id	文字列		システム案件ID
☐ imw_t_actv_executable_user	node_id	文字列		ノードID
☐ imw_t_actv_executable_user	auth_user_name	文字列		処理対象者

更新

データ参照新規作成

6. 「抽出条件一覧」に以下を追加します。

検索カラム	検索条件
ロケールID (locale_id)	ja 日本語を検索
システム案件ID (system_matter_id)	<%REQUEST_PARAMETER(system_matter_id)%> データ参照画面表示時のリクエストパラメータの値を検索条件に設定
ノードID (node_id)	<%REQUEST_PARAMETER(node_id)%> データ参照画面表示時のリクエストパラメータの値を検索条件に設定

テーブル一覧

Exclude

テーブルビュー

b_m_account_attr_b

b_m_account_b

b_m_account_dtf

b_m_account_role_b

b_m_account_theme

b_m_calendar_info_b

b_m_calendar_info_i

b_m_calendar_merge_b

b_m_calendar_week_b

b_m_day_info_b

b_m_day_info_i

b_m_day_info_set_b

b_m_day_info_set_i

b_m_link_category

imw_t_actv_executable_user

system_matter_id

node_id

auth_user_code

locale_id

auth_user_name

invalid_flag

追加削除

上へ下へ

☐ WHERE句直接入力

☐ OR検索

抽出条件一覧(3)

カラム一覧(3)

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
☐ imw_t_actv_executable_user	locale_id	完全一致	ja
☐ imw_t_actv_executable_user	system_matter_id	完全一致	<%REQUEST_PARAMETER(system_matter_id)%>
☐ imw_t_actv_executable_user	node_id	完全一致	<%REQUEST_PARAMETER(node_id)%>

更新

データ参照新規作成

7. 追加が終わったら「登録」をクリックします。

The screenshot shows the '登録' (Register) button highlighted in a red box. The interface includes a table with columns: テーブル (Table), カラム (Column), 抽出方法 (Extraction Method), and 条件値 (Condition Value). The table contains three rows for 'imw_t_actv_executable_user' with columns 'locale_id', 'system_matter_id', and 'node_id'. The '抽出方法' is '完全一致' (Exact Match) and the '条件値' is a parameter reference like '<%REQUEST_PARAMETER(system_matter_id)%>'.

8. 以上で、リンク先画面のベースとなるクエリが作成できました。

リスト集計画面を作成する（リンク先画面）

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

メイン画面にリンク先画面に対するリンクの設定が必要なため、リンク先画面から作成します。

メイン画面からリクエストパラメータを受け取り、対象データを表示できるように設定します。

1. クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

The screenshot shows the 'データ参照新規作成' (Create New Data Reference) button highlighted in a red box. The interface is similar to the previous one, but the '登録' (Register) button is now '更新' (Update). The table structure remains the same.

2. データ参照名などの情報を入力します。

The screenshot shows the 'データ参照・編集リストサマリ集計' (Data Reference Edit List Summary Collection) screen. It has two main sections: 'データ参照設定' (Data Reference Setting) and '表示設定' (Display Setting). The 'データ参照設定' section includes fields for 'データ参照コード*' (viewcreator_sample21), 'データ参照名*' (【サンプル2-sub】フロー別滞留案件一覧), 'クログ名' (【サンプル2-sub】フロー別滞留案件・処理対象者一覧クエリ), '集計タイプ' (リスト), '説明', and 'エクスポート機能の利用' (checked). The '表示設定' section includes '枠線' (unchecked), '1行おきの背景色' (checkbox), '表全体の幅' (0 px), and 'ヘッダー行の改行' (unchecked). The 'カラム一覧' (Column List) section is at the bottom.

3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。
また、数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。

4. 抽出条件を設定します。
メイン画面からの遷移するときに、リクエストパラメータとして受け取るように設定します。

対象カラム	条件値
システム案件ID	<%REQUEST_PARAMETER(system_matter_id)%>
ノードID	<%REQUEST_PARAMETER(node_id)%>

5. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。

6. 以上で、リンク先画面の作成が完了しました。

リスト集計画面を作成する（メイン画面）

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。
リストに表示する項目から 処理対象者をリンク先画面で表示できるように、リンクを設定します。

1. クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

b_m_account_role_b
b_m_account_theme
b_m_calendar_info_b
b_m_calendar_info_i
b_m_calendar_merge_b
b_m_calendar_week_b
b_m_day_info_b
b_m_day_info_i
b_m_day_info_set_b
b_m_day_info_set_i
b_m_link_category

status
start_date
auto_process_limit_date
auto_process_limit_type

matter_start_date
file_dir_path

追加 削除 上へ 下へ

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
☐ imwv_t_actv_matter_locale	flow_name	文字列		フロー名
☐ imwv_t_actv_task	node_name	文字列		ノード名
☐ imwv_t_actv_task	node_id	文字列		ノードID
☐ imwv_t_actv_matter	matter_number	文字列		案件番号

更新 データ参照新規作成

2. データ参照名などの情報を入力します。

データ参照・編集リスト/タマリ集計

データ参照設定

データ参照コード*

viewcreator_sample22

データ参照名*

【サンプル2】フロー別滞留案件一覧

国際化データ

クエリ名

【サンプル2】フロー別滞留案件・処理対象者一覧クエリ

集計パターン

リスト

説明

エクスポート機能の利用

☒ 利用する

表示設定

枠線

☐ 枠線を表示する

1行おきの背景色

表全体の幅

0 px

ヘッダー行の改行

☐ 改行する

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。
数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。
また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フロー名(flow_name)	グループ化	☒		昇順		
▲▼ ノード名(node_name)	グループ化	☒		昇順		
▲▼ ノードID(node_id)		☐			node_id	
▲▼ 案件番号(matter_number)	カウント	☒		昇順		
▲▼ 案件名(matter_name)	プログラム	☒				
▲▼ システム案件ID(system_matter_id)		☐			system_matte	

4. 案件名のカラム「matter_name」から案件の詳細画面を表示できるように、リンクを設定します。
リンクを設定するために「matter_name」のタイプを「プログラム」に変更します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
フロー名(flow_name)	グループ化	☒		昇順		
ノード名(node_name)	グループ化	☒		昇順		
ノードID(node_id)		☐			node_id	
案件番号(matter_number)	カウント	☒		昇順		
案件名(matter_name)	プログラム	☒				
システム案件ID(system_matter_id)		☐			system_matter_id	

5. リンク先として、IM-Workflow の詳細画面を呼び出すためのパスを設定します。

「」をクリックし、連携プログラムパスにリンクする リンク先画面のパスを入力し、「OK」をクリックします。

連携プログラムの設定

連携プログラムパス viewcreator/dataview/list/viewcreator_sample21

ターゲットウィンドウ _blank

formのaction属性に設定する href属性に設定する

OK

設定する画面 連携プログラムパス

詳細画面 viewcreator/dataview/list/viewcreator_sample21

i コラム

リンク先画面のパスは、「ViewCreator」 - 「データ参照一覧」にてリンク先に設定したいデータ参照を開き、上部のURLを確認してください。



1. リクエストパラメータとして、連携先のプログラムへ渡すパラメータを設定します。
パラメータ名を以下の通りに設定します。

カラム一覧

計算式を追加カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フロー名(flow_name)	グループ化	☒		昇順		
▲▼ ノード名(node_name)	グループ化	☒		昇順		
▲▼ ノードID(node_id)		☐			node_id	
▲▼ 案件番号(matter_number)	カウント	☒		昇順		
▲▼ 案件名(matter_name)	プログラム 	☒				
▲▼ システム案件ID(system_matter_id)		☐			system_matter_id	

カラム	設定値
ノードID (node_id)	node_id
システム案件ID (system_matter_id)	system_matter_id

2. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。

フッター

fx

パス:

国際化データ

☐ ゲストユーザ ☐ 認証済みユーザ

参照権追加

更新して一覧へ戻る

3. 以上で、メイン画面の作成が完了しました。

i

コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照してください。

サンプル3 ユーザ別の滞留案件の一覧を作成する

ユーザ別に、滞留案件の一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルで参照するテーブルの情報
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

このサンプルについて

このサンプルでは、特定のユーザに対し、処理待ちとなっている案件の一覧を確認できます。

【サンプル3】ユーザ別滞留案件一覧

← CSV出力 🔍 検索

1

処理対象者ユーザコード

案件名

案件番号(カウンタ)

ノード名(カウンタ)

+ aoyagi

-

200017

200017

200017

200017

ユーザ別に未処理案件の件数を表示

ユーザをクリック

【サンプル3】ユーザ別滞留案件一覧

← CSV出力 🔍 検索

1

処理対象者ユーザコード

案件名

案件番号(カウンタ)

ノード名(カウンタ)

aoyagi

←

【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請

0000000010

承認

0000000019

承認

2

2

ユーザを選択することで、処理対象のノードを表示

このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- 未完了案件タスク処理対象者テーブル (imw_t_actv_executable_user)
処理対象者情報を格納するテーブルです。
未完了案件未完了タスクテーブルで処理待ちとなっているタスクに対する処理対象者情報が格納されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
ロケールID (locale_id)	ロケールを一意に特定するためのID です。
権限者名 (auth_user_name)	処理対象者名です。
- 未完了案件テーブル (imw_t_actv_matter)
未完了案件情報を格納するテーブルです。
案件毎に1レコード作成されます。
作成されたレコードは、案件が完了すると削除され、完了案件テーブル (imw_t_cpl_matter) に対応するレコードが作成されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
フローID (flow_id)	フロー定義を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID (insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのID です。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
案件番号 (matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日 (apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。
- 未完了案件未完了タスクテーブル (imw_t_actv_task)
次に処理するワークフローのタスクが格納されるテーブルです。
処理待ちとなっているノードのタスクの情報が登録されます。

IM-Workflow の処理は、差戻後の承認のように、同一ノードに対して複数回処理することができます。

タスクテーブルには、ノード上で行われた処理がタスクとして登録されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
開始日 (start_date)	タスクが登録された日時です。

i コラム

テーブル定義情報の詳細は、「[IM-Workflow テーブル定義書](#)」を参照してください。

クエリを作成する

IM-Workflow の未完了案件に対するクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリー一覧」をクリックします。
2. 「クエリー一覧」で「新規」をクリックします。

データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
	ViewCreatorの設定テーブルを利用	517ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
	system_log	51b8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
	transition_log	51b8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
	【IMW】ノード滞留クエリ	51be72zj2x4rfpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
	【IMW】ノード滞留クエリ(担当者)	51be7327eumlvpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
	【サンプル1】特定フロー完了案件クエリ	51emao7u3kedu	default	2015/03/03 19:33	aoyagi	
	【サンプル2-1】フロー別滞留案件・処理済案件クエリ	51enf2wviu2l3a5	default	2015/03/04 20:30	aoyagi	
	【サンプル2-2】フロー別滞留案件・処理済案件クエリ	51eopxzmilyg	default	2015/03/04 19:48	aoyagi	
	【サンプル3】ユーザー別滞留案件・処理済案件クエリ	51emaf5udkbu7a6	default	2015/03/03 14:26	aoyagi	

3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

クエリ名(*)

説明

接続ID

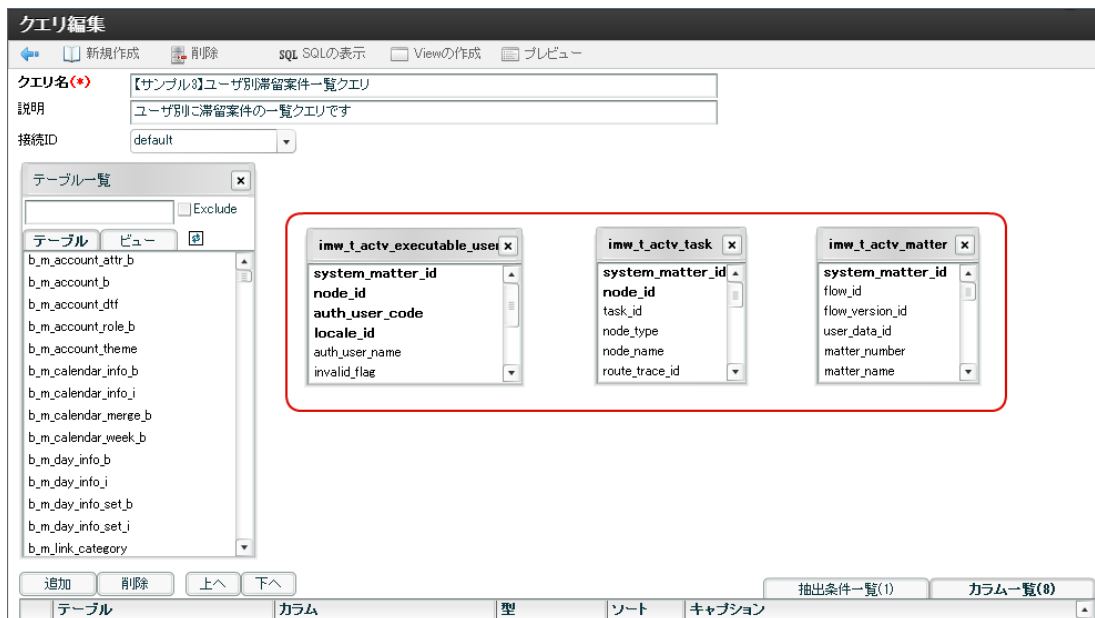
テーブル一覧

☐ Exclude

テーブル ビュー

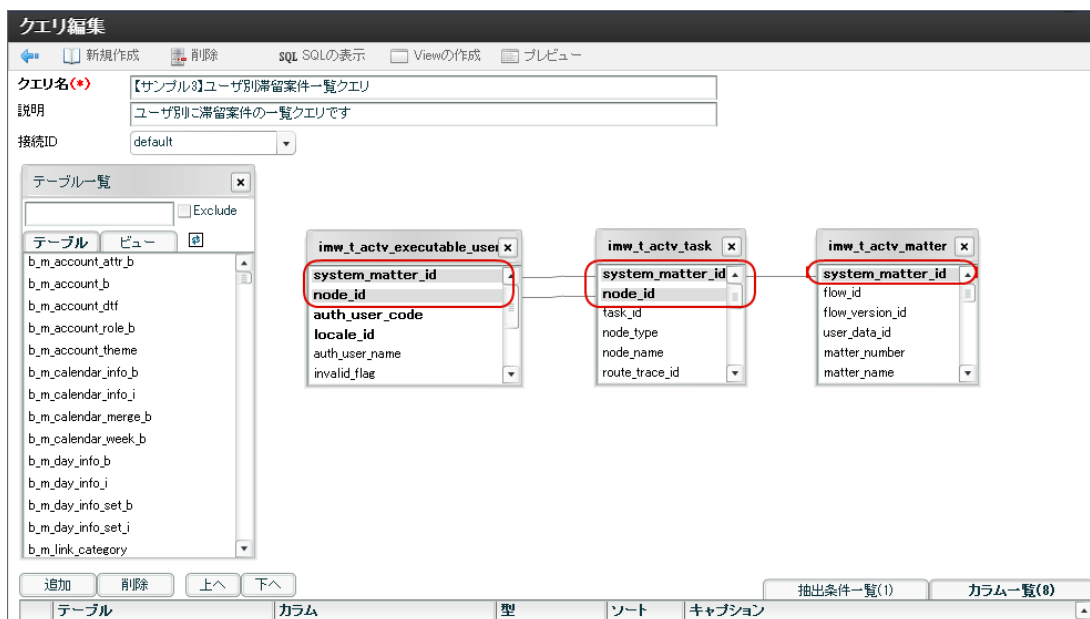
- b_m_account_attr_b
- b_m_account_b
- b_m_account_dtf
- b_m_account_role_b
- b_m_account_theme
- b_m_calendar_info_b
- b_m_calendar_info_i
- b_m_calendar_merge_b
- b_m_calendar_week_b
- b_m_day_info_b

4. 「テーブル一覧」から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。
 - imw_t_actv_executable_user
 - imw_t_actv_task
 - imw_t_actv_matter



5. 配置したテーブルを下記の通りに結合します。

- imw_t_actv_executable_user、imw_t_actv_task
 - システム案件ID (system_matter_id)
 - ノードID (node_id)
- imw_t_actv_task、imw_t_actv_matter
 - システム案件ID (system_matter_id)



6. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。

一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imw_t_actv_executable_user
 - 処理対象者ユーザコード (auth_user_code)
 - 処理対象者ユーザ名 (auth_user_name)
- imw_t_actv_task
 - ノード名 (node_name)
- imw_t_actv_matter
 - 案件番号 (matter_number)
 - 案件名 (matter_name)

テーブル一覧

Exclude

テーブルビュー

b_m_account_attr_b

b_m_account_b

b_m_account_dtf

b_m_account_role_b

b_m_account_theme

b_m_calendar_info_b

b_m_calendar_info_i

b_m_calendar_merge_b

b_m_calendar_week_b

b_m_day_info_b

b_m_day_info_i

b_m_day_info_set_b

b_m_day_info_set_i

b_m_link_category

imw_t_actv_executable_user

system_matter_id

node_id

auth_user_code

locale_id

auth_user_name

invalid_flag

imw_t_actv_task

system_matter_id

node_id

task_id

node_type

node_name

route_trace_id

imw_t_actv_matter

system_matter_id

flow_id

flow_version_id

user_data_id

matter_number

matter_name

抽出条件一覧(1)

カラム一覧(8)

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
☐ imw_t_actv_executable_user	auth_user_code	文字列		処理対象者ユーザコード
☐ imw_t_actv_executable_user	auth_user_name	文字列		処理対象者名
☐ imw_t_actv_matter	matter_number	文字列		案件番号
☐ imw_t_actv_matter	matter_name	文字列		案件名

更新

データ参照新規作成

7. 「抽出条件一覧」に以下を追加します。

検索カラム	検索条件
ロケールID (locale_id)	ja
	日本語を検索

テーブル一覧

Exclude

テーブルビュー

b_m_account_attr_b

b_m_account_b

b_m_account_dtf

b_m_account_role_b

b_m_account_theme

b_m_calendar_info_b

b_m_calendar_info_i

b_m_calendar_merge_b

b_m_calendar_week_b

b_m_day_info_b

b_m_day_info_i

b_m_day_info_set_b

b_m_day_info_set_i

b_m_link_category

imw_t_actv_executable_user

system_matter_id

node_id

auth_user_code

locale_id

auth_user_name

invalid_flag

imw_t_actv_task

system_matter_id

node_id

task_id

node_type

node_name

route_trace_id

imw_t_actv_matter

system_matter_id

flow_id

flow_version_id

user_data_id

matter_number

matter_name

☐ WHERE句直接入力

☐ OR検索

抽出条件一覧(1)

カラム一覧(8)

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
☐ imw_t_actv_executable_user	locale_id	完全一致	ja

更新

データ参照新規作成

8. 追加が終わったら「登録」をクリックします。

テーブル一覧

Exclude

テーブルビュー

b_m_account_attr_b

b_m_account_b

b_m_account_dtf

b_m_account_role_b

b_m_account_theme

b_m_calendar_info_b

b_m_calendar_info_i

b_m_calendar_merge_b

b_m_calendar_week_b

b_m_day_info_b

b_m_day_info_i

b_m_day_info_set_b

b_m_day_info_set_i

b_m_link_category

追加

削除

上へ

下へ

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
☐ imw_t_actv_executable_user	auth_user_code	文字列		処理対象者ユーザコード
☐ imw_t_actv_executable_user	auth_user_name	文字列		処理対象者名
☐ imw_t_actv_matter	matter_number	文字列		案件番号
☐ imw_t_actv_matter	matter_name	文字列		案件名

更新

データ参照新規作成

imw_t_actv_executable_user

imw_t_actv_task

imw_t_actv_matter

9. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

i コラム

案件数が多くリスト集計の表示に時間がかかる場合は、抽出条件を設定することで改善することができます。
「抽出条件一覧」で処理対象者名を条件に追加すると、リストに表示する案件のデータ数を制限することができます。

テーブル一覧

Exclude

テーブルビュー

b_m_account_attr_b

b_m_account_b

b_m_account_dtf

b_m_account_role_b

b_m_account_theme

b_m_calendar_info_b

b_m_calendar_info_i

b_m_calendar_merge_b

b_m_calendar_week_b

b_m_day_info_b

b_m_day_info_i

b_m_day_info_set_b

b_m_day_info_set_i

b_m_link_category

追加

削除

上へ

下へ

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
☐ imw_t_actv_executable_user	locale_id	完全一致	ja
☐ imw_t_actv_executable_user	auth_user_code	完全一致	aoyagi

更新

データ参照新規作成

imw_t_actv_executable_user

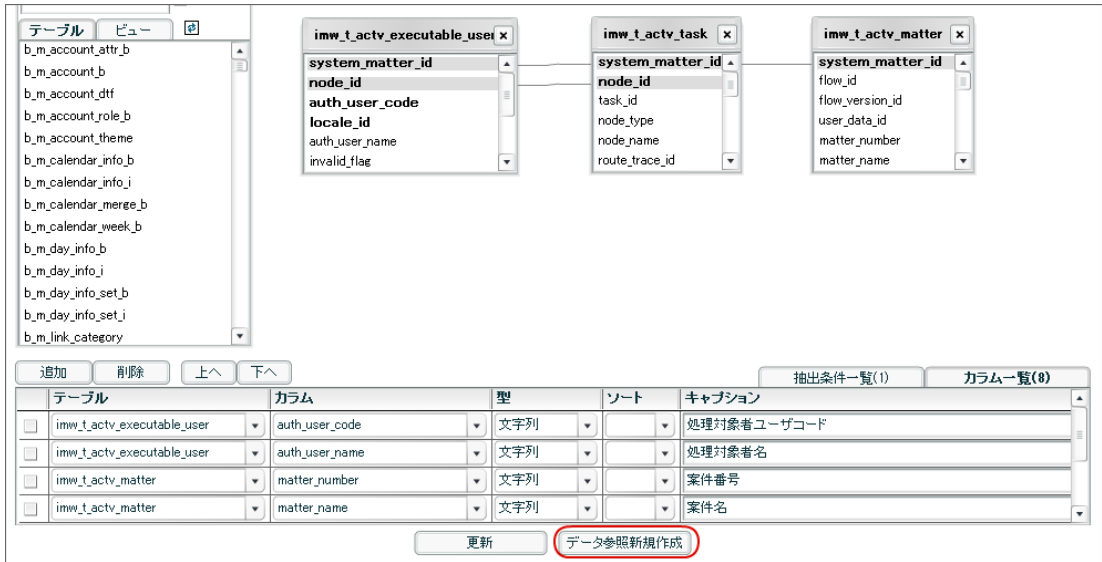
imw_t_actv_task

imw_t_actv_matter

リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

- クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。



2. データ参照名などの情報を入力します。



3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。
数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。
また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。



4. ユーザを検索できるように「検索設定」を以下のように設定します。

i コラム

「検索設定」を設定しない場合、リスト集計の表示に時間がかかる可能性があります。
リスト集計の表示に時間がかかる場合は、「検索設定」の設定をするようにお願いします。

1. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。

2. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

i コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照してください。

サンプル4 処理対象者が不在の案件一覧を作成する

処理対象者が不在の案件の一覧を作成します。

- [このサンプルについて](#)
- [このサンプルで参照するテーブルの情報](#)
- [クエリを作成する](#)
- [リスト集計画面を作成する](#)

このサンプルについて

このサンプルでは、処理対象者が不在で、案件を完了できなくなった案件の一覧を確認できます。

【サンプル4】処理対象者が不在案件一覧

← CSV出力

処理対象者が不在のノード一覧を表示

フロー名	フローID	システム案件ID	案件番号	案件名	ノードID	ノード名
【サンプル】住所変更申請	5ieopy9hhimu5a5	ma_5ieopy9jw5p0ja5	0000000021	【サンプル】住所変更申請	gkfmvojdv6xex0	承認／処理

1

処理中のノードの処理対象者に該当するユーザが存在しないために完了できない案件を確認することができます。これらの案件について、案件を完了させるためには、別途対応を行う必要があります。

このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- 未完了案件タスク処理対象者テーブル (imw_t_actv_executable_user)

処理対象者情報を格納するテーブルです。

未完了案件未完了タスクテーブルで処理待ちとなっているタスクに対する処理対象者情報が格納されます。

カラム	説明
システム案件ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
ロケールID (locale_id)	ロケールを一意に特定するためのID です。
権限者名 (auth_user_name)	処理対象者名です。

- 未完了案件テーブル (imw_t_actv_matter)

未完了案件情報を格納するテーブルです。

案件毎に1レコード作成されます。

作成されたレコードは、案件が完了すると削除され、完了案件テーブル (imw_t_cpl_matter) に対応するレコードが作成されます。

カラム	説明
システム案件ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
フローID (flow_id)	フロー定義を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID (insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのID です。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
案件番号 (matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日 (apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 未完了案件未完了タスクテーブル (imw_t_actv_task)

次に処理するワークフローのタスクが格納されるテーブルです。

処理待ちとなっているノードのタスクの情報が登録されます。

IM-Workflow の処理は、差戻後の承認のように、同一ノードに対して複数回処理することができます。

タスクテーブルには、ノード上で行われた処理がタスクとして登録されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
開始日 (start_date)	タスクが登録された日時です。

■ 未完了案件ロケールテーブル (imw_t_actv_matter_locale)

ロケール毎に保持する情報を格納するテーブルです。

申請時点でロケール毎に1レコード作成されます。

フロー名を取得するために利用します。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ロケールID (locale_id)	ロケールを一意に特定するためのID です。
フロー名 (flow_name)	フロー名です。



コラム

テーブル定義情報の詳細は、「IM-Workflow テーブル定義書」を参照してください。

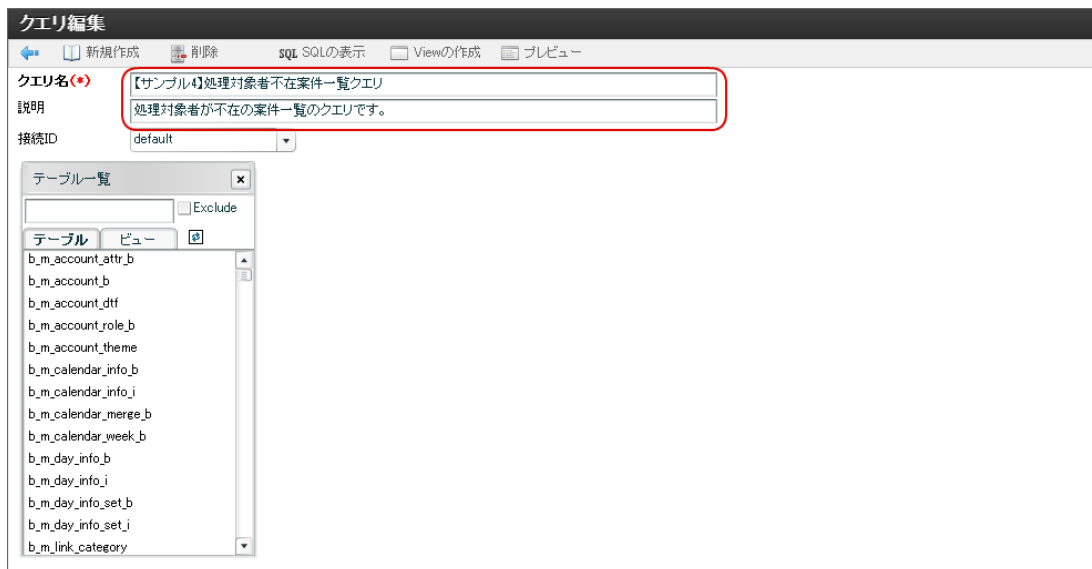
クエリを作成する

IM-Workflow の未完了案件に対するクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリ一覧」をクリックします。
2. 「クエリ一覧」で「新規」をクリックします。

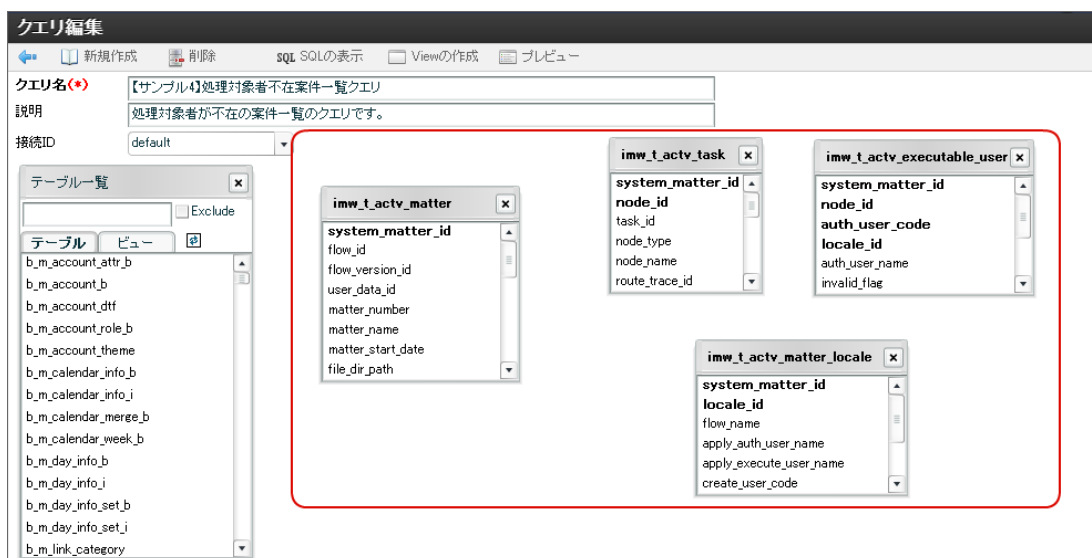
データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
	ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
	system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
	transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
	【IMW】ノード滞留クエリ	5ibe72zj2x4rfpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
	【IMW】ノード滞留クエリ(担当者)	5ibe7327eumlvpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
	【サンプル1】特定フロー完了案件ク	5iemao7u3kedu	default	2015/03/03 19:33	aoyagi	
	【サンプル2-1】フロー別滞留案件・処	5ienf2wviu2i3a5	default	2015/03/04 20:30	aoyagi	

3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。



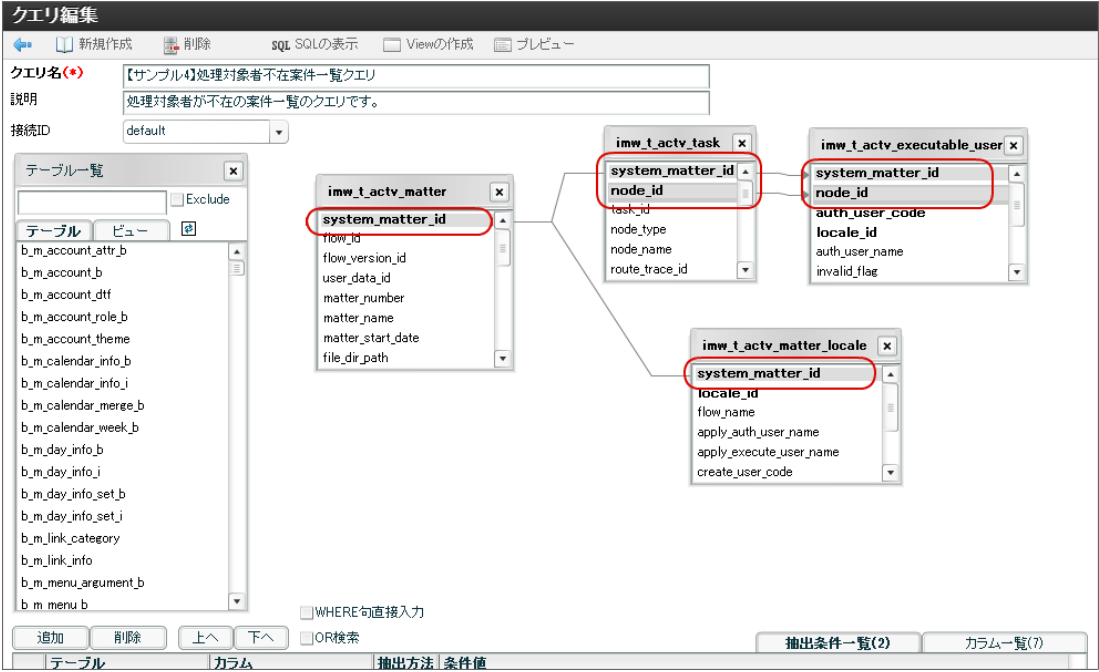
4. 「テーブル一覧」から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。

- imw_t_actv_executable_user
- imw_t_actv_task
- imw_t_actv_matter
- imw_t_actv_matter_locale

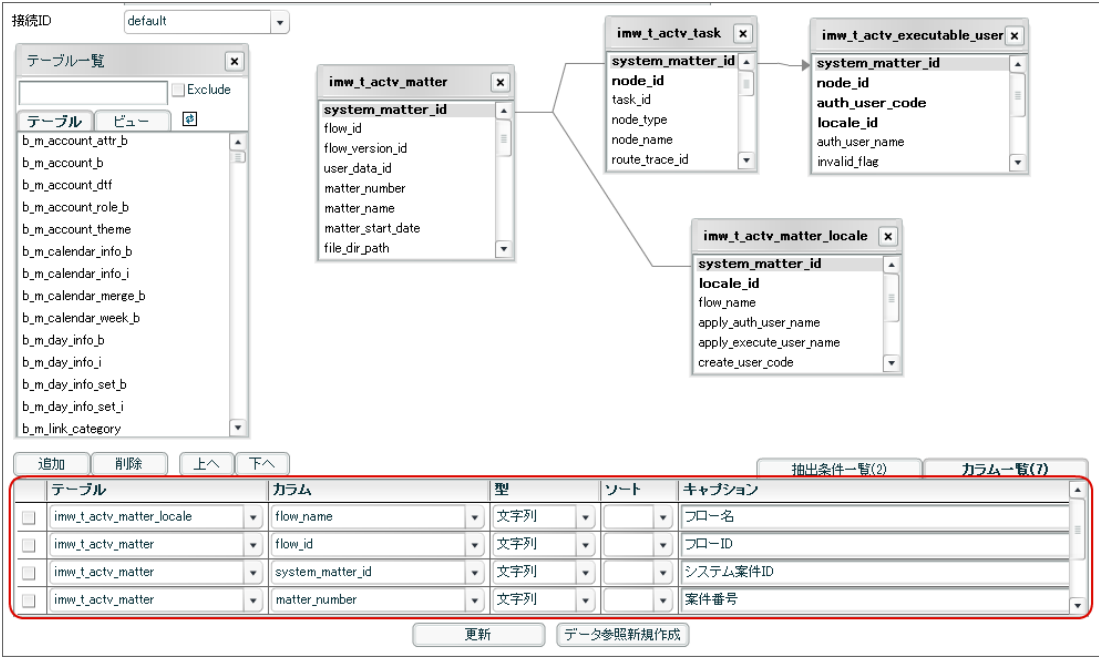


5. 配置したテーブルを下記の通りに結合します。

- imw_t_actv_matter、imw_t_actv_task
 - システム案件ID (system_matter_id)
- imw_t_actv_executable_user、imw_t_actv_task
 - システム案件ID (system_matter_id)
 - ノードID (node_id)
- imw_t_actv_matter、imw_t_actv_matter_locale
 - システム案件ID (system_matter_id)



6. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。
一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。
- imw_t_actv_matter_locale
 - フロー名 (flow_name)
 - imw_t_actv_task
 - ノード名 (node_name)
 - ノードID (node_id)
 - imw_t_actv_matter
 - システム案件ID (system_matter_id)
 - フローID (flow_id)
 - 案件番号 (matter_number)
 - 案件名 (matter_name)



7. 「抽出条件一覧」に以下を追加します。

検索カラム	検索条件
ロケールID (locale_id)	ja 日本語を検索

検索カラム

検索条件

処理対象者コード
(auth_user_code)

<%NULL%>
処理対象者が不在の場合はレコード無

接続ID: default

テーブル一覧

imw_t_actv_matter

imw_t_actv_task

imw_t_actv_executable_user

imw_t_actv_matter_locale

抽出条件一覧(2)

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
imw_t_actv_executable_user	auth_user_code	完全一致	<%NULL%>
imw_t_actv_matter_locale	locale_id	完全一致	ja

更新 データ参照新規作成

8. 追加が終わったら「登録」をクリックします。

接続ID: default

テーブル一覧

imw_t_actv_matter

imw_t_actv_task

imw_t_actv_executable_user

imw_t_actv_matter_locale

抽出条件一覧(2)

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
imw_t_actv_executable_user	auth_user_code	完全一致	<%NULL%>
imw_t_actv_matter_locale	locale_id	完全一致	ja

更新 データ参照新規作成

9. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

i コラム

案件数が多くリスト集計の表示に時間がかかる場合は、抽出条件を設定することで改善することができます。
「抽出条件一覧」でフローIDを条件に追加すると、リストに表示する案件のデータ数を制限することができます。
また、フローIDを条件に追加して改善しない場合、該当カラムにインデックスの設定を検討してください。

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
imw_t_actv_executable_user	auth_user_code	完全一致	<XNULL>
imw_t_actv_matter_locale	locale_id	完全一致	ja
imw_t_actv_matter	flow_id	完全一致	51e0py9hhmu5a5

リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

1. クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imw_t_actv_matter_locale	flow_name	文字列		フロー名
imw_t_actv_matter	flow_id	文字列		フローID
imw_t_actv_matter	system_matter_id	文字列		システム案件ID
imw_t_actv_matter	matter_number	文字列		案件番号

2. データ参照名などの情報を入力します。

データ参照・編集リスト/サマリ集計

データ参照設定

データ参照コード* viewcreator_sample4

データ参照名* 【サンプル4】処理対象者不在案件一覧

▶ 国際化データ

クエリ名 【サンプル4】処理対象者不在案件一覧クエリ

集計パターン リスト ▼

説明

エクスポート機能の利用 ☒ 利用する

表示設定

枠線 ☐ 枠線を表示する

1行おきの背景色

表全体の幅 600px

ヘッダー行の改行 ☐ 改行する

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。
数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。
また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フロー名(flow_name) ▼	▼	☒		昇順 ▼		⚙️
▲▼ フローID(flow_id) ▼	▼	☒		▼		⚙️
▲▼ システム案件ID(system_matter_id) ▼	▼	☒		昇順 ▼		⚙️
▲▼ 案件番号(matter_number) ▼	▼	☒		昇順 ▼		⚙️
▲▼ 案件名(matter_name) ▼	▼	☒		▼		⚙️
▲▼ ノードID(node_id) ▼	▼	☒		▼		⚙️
▲▼ ノード名(node_name) ▼	▼	☒		昇順 ▼		⚙️

4. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。

フッター

fx

パス:

▶ 国際化データ

☐ ゲストユーザ ☐ 認証済みユーザ

登録して一覧へ戻る

5. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

i コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定」を参照してください。

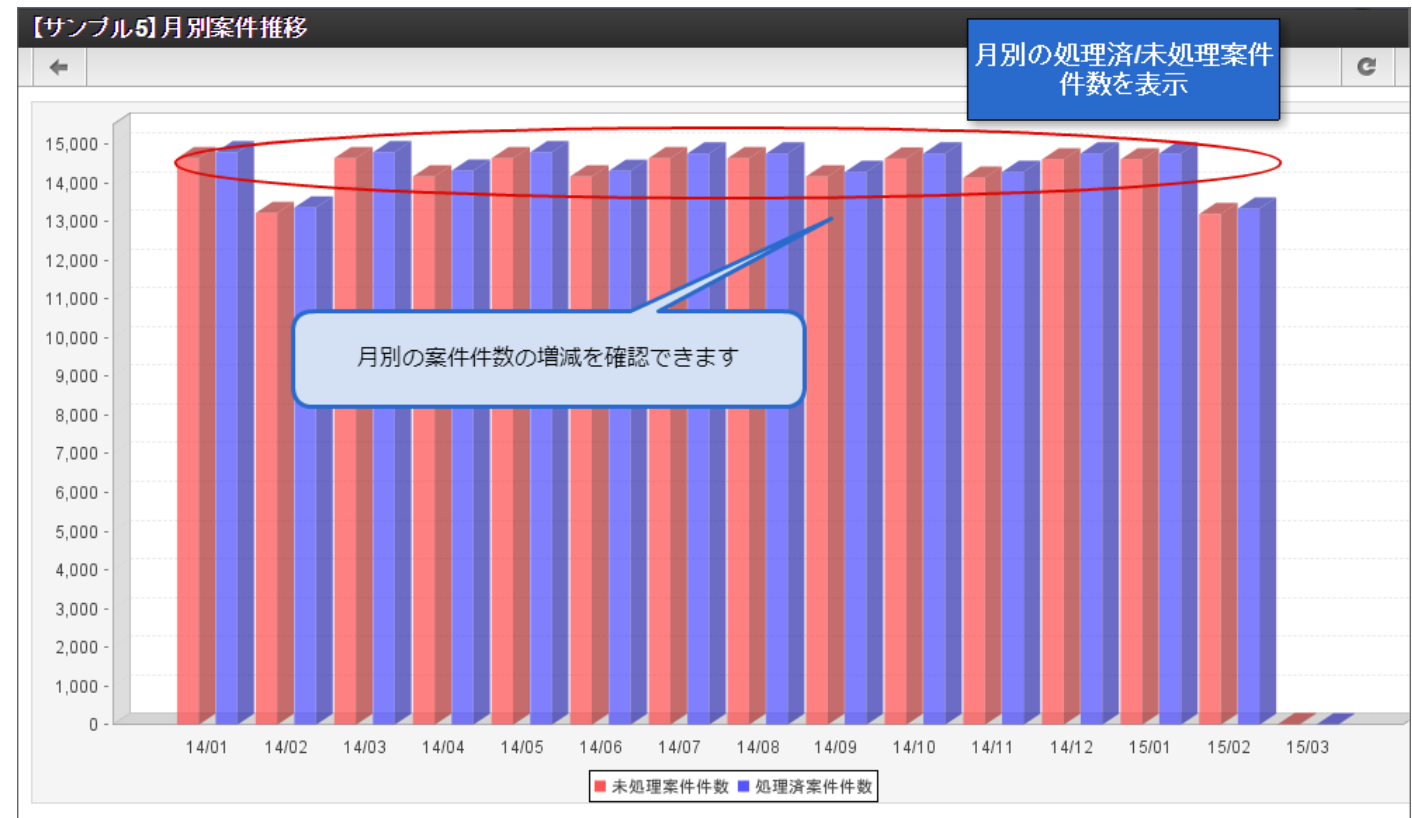
サンプル5 月別の案件推移グラフを作成する

月別の案件推移グラフを作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルで参照するテーブルの情報
- クエリを作成する
- グラフ集計画面を作成する

このサンプルについて

このサンプルでは、月別の案件処理件数の推移を確認できます。
対象は全フローの完了、未完了案件です。



このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- 未完了案件テーブル (imw_t_actv_matter)
未完了案件情報を格納するテーブルです。
案件毎に1レコード作成されます。
作成されたレコードは、案件が完了すると削除され、完了案件テーブル (imw_t_cpl_matter) に対応するレコードが作成されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
フローID (flow_id)	フロー定義を一意に特定するためのIDです。

カラム	説明
ユーザデータID (insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのID です。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
案件番号 (matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日 (apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 完了案件テーブル (imw_t_cpl_matter)
完了案件情報を格納するテーブルです。
案件毎に1レコード作成されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID (insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのID です。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
案件番号 (matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日 (apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 月別案件数ビュー (imw_v_matter)
月別の未処理、処理済案件数を表示するビューです。
「 [サンプル5 月別案件推移グラフ](#) 」よりDDLをダウンロードして、ご利用の環境のDBに登録してください。



コラム

テーブル定義情報の詳細は、「 [IM-Workflow テーブル定義書](#) 」を参照してください。

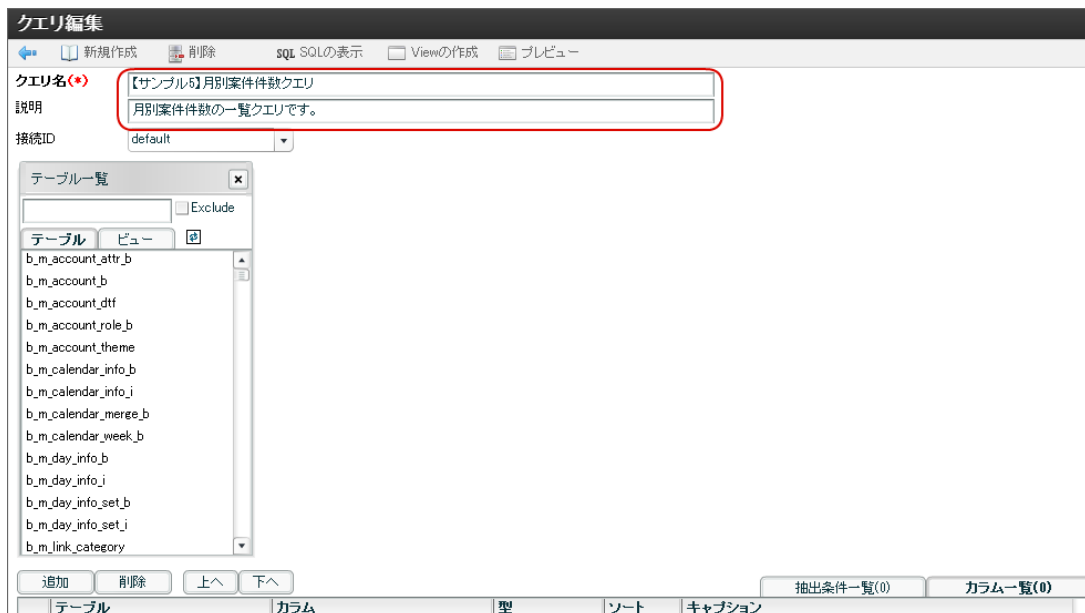
クエリを作成する

IM-Workflow の完了案件、未完了案件に対するクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリー一覧」をクリックします。
2. 「クエリー一覧」で「新規」をクリックします。

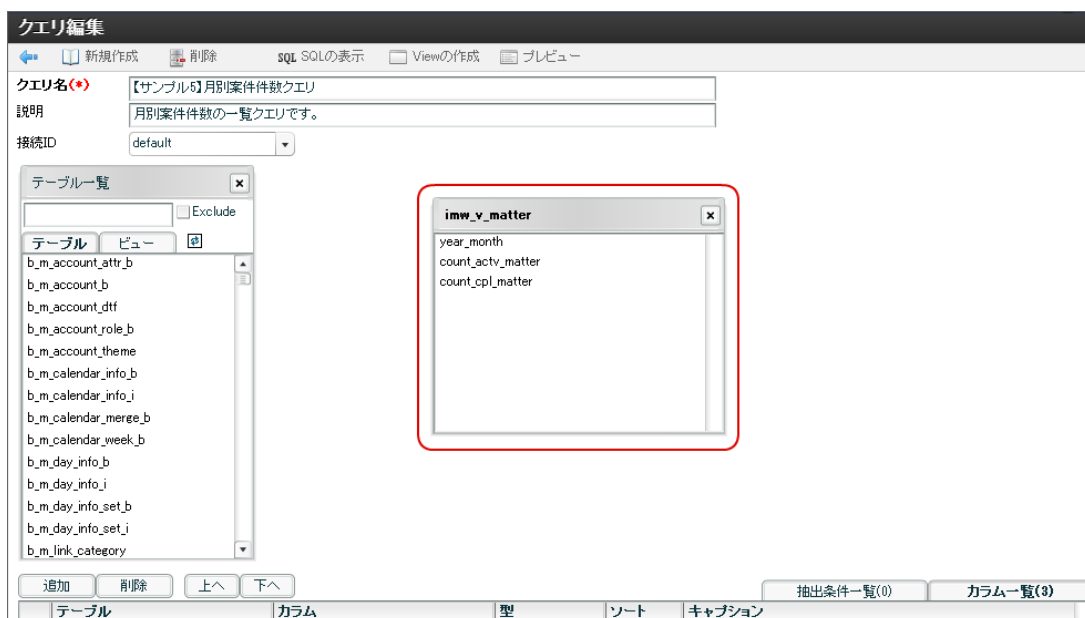
クエリー一覧							
新規 コピー 削除 データ参照一覧へ 検索 クリア							
	データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
		ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
		system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
		transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
		【IMW1】ノード滞留クエリ	5ibe72zj2x4rfd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
		【IMW1】ノード滞留クエリ(担当者)	5ibe7327eumlvpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
		【サンプル1】特定フロー完了案件ク	5iemao7u3kedu	default	2015/03/03 19:33	aoyagi	
		【サンプル2-1】フロー別滞留案件・延	5ienf2wviu2i3a5	default	2015/03/04 20:30	aoyagi	
		【サンプル2-2】フロー別滞留案件・延	5ieopxzrlmylg	default	2015/03/04 19:48	aoyagi	

3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。



4. 「テーブル一覧」のビュータブから下記のビューを検索し、ドラッグして右側に配置します。

- imw_v_matter



5. 「カラム一覧」に下記のカラムを追加します。

一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imw_v_matter
 - 申請月 (year_month)
 - 未処理案件件数 (count_actv_matter)
 - 処理済案件件数 (count_cpl_matter)

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imw_v_matter	year_month	文字列		申請月
imw_v_matter	count_actv_matter	数値		未処理案件件数
imw_v_matter	count_cpl_matter	数値		処理済案件件数

6. 追加が終わったら「登録」をクリックします。

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imw_v_matter	year_month	文字列		申請月
imw_v_matter	count_actv_matter	数値		未処理案件件数
imw_v_matter	count_cpl_matter	数値		処理済案件件数

7. 以上で、グラフ集計のベースとなるクエリが作成できました。

コラム

案件数が多くグラフ集計の表示に時間がかかる場合は、バッチ処理にてビューで表示している月別案件件数を、別テーブルに格納することを検討してください。

グラフ集計画面を作成する

作成したクエリから「グラフ集計」を作成します。

1. 「クエリー一覧」 - 「データ参照作成」から、「」をクリックします。

クエリー一覧							
新規 コピー 削除 データ参照一覧へ							
検索 クリア							
データ参照作成	クエリー名	クエリーコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート	
	ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant		
	system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system		
	transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system		
	【IMW】ノード滞留クエリ	5ibe72zj2x4rfpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi		
	【IMW】ノード滞留クエリ(担当者)	5ibe7327eumlvpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi		
	【サンプル1】特定フロー完了案件ク	5iemao7u3kedu	default	2015/03/03 19:33	aoyagi		
	【サンプル2-1】フロー別滞留案件・処	5ienf2wviu23a5	default	2015/03/04 20:30	aoyagi		
	【サンプル2-2】フロー別滞留案件・処	5ieopxzrimylg	default	2015/03/04 19:48	aoyagi		
	【サンプル3】ユーザ別滞留案件一覧	5iemg5v1dkby7a5	default	2015/03/06 14:17	aoyagi		
	【サンプル4】処理対象者不在案件一	5ienf2y7loxdja5	default	2015/03/06 19:23	aoyagi		
	【サンプル5】月別案件件数クエリ	5iemg6onzmt3d	default	2015/03/09 12:52	aoyagi		
	【サンプル6】IMBIS BAMクエリ	5iemgn8nnxyxx	default	2015/03/02 10:13	aoyagi		
	【サンプル7】BAMサマリクエリ	5iemb4ylqbjn2	default	2015/03/02 10:13	aoyagi		

2. データ参照名などの情報を入力します。

データ参照・編集 グラフ集計

データ参照設定

データ参照コード*

viewcreator_sample52

データ参照名*

【サンプル5】月別案件推移

国際化データ

データ取得元リスト集計

【サンプル5】月別案件件数

集計パターン

グラフ

説明

エクスポート機能の利用

☒ 利用する

グラフ設定

グラフ描画形式*

JFreeChart

グラフタイプ*

棒グラフ

表示タイプ

☐ 水平表示 ☒ 立体表示

グラフの大きさ(縦幅)

500

グラフの大きさ(横幅)

1000

目盛りの最大値

0

目盛りの最小値

0

1目盛りあたりの数

0

100分率表示

☒

リストの表示

☐

3. グラフに凡例を表示するために、「凡例ラベルカラム」を設定します。

キャプションカラム

申請月(year_month)

凡例コードカラム

凡例ラベルカラム

未処理案件件数(count_actv_matter)

表示

カラム

カラー

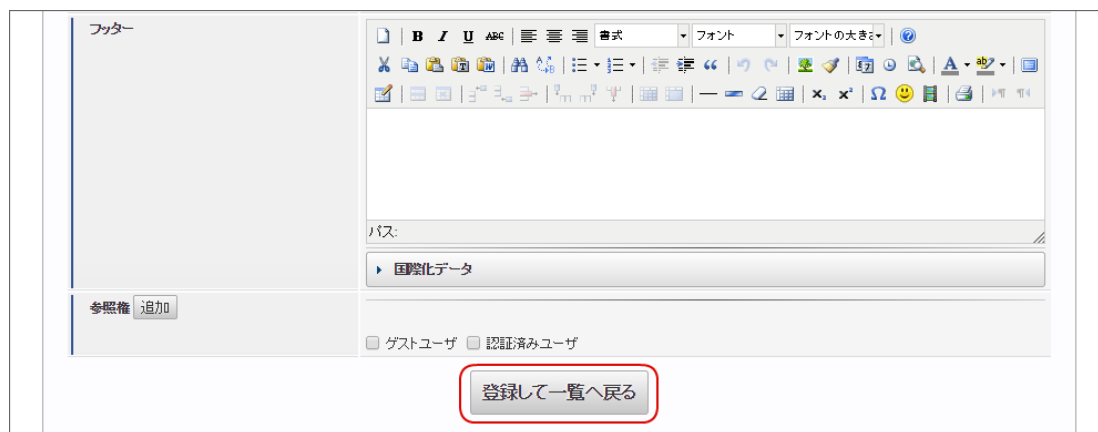
☒

未処理案件件数

☒

処理済案件件数

4. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、グラフ集計画面（データ参照）を保存します。



5. 以上で、グラフ集計画面の作成が完了しました。

コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照してください。

- 完了案件テーブル (imw_t_cpl_matter)
完了案件情報を格納するテーブルです。
案件毎に1レコード作成されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID (insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのID です。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
案件番号 (matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日 (apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 完了案件タスクテーブル (imw_t_cpl_matter_task)
完了案件のワークフローのタスクが格納されるテーブルです。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
開始日 (start_date)	タスクが登録された日時です。

- 完了案件ロケールテーブル (imw_t_cpl_matter_locale)
ロケール毎に保持する情報を格納するテーブルです。
申請時点でロケール毎に1レコード作成されます。
フロー名を取得するために利用します。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ロケールID (locale_id)	ロケールを一意に特定するためのID です。
フロー名 (flow_name)	フロー名です。

- BAM処理時間ビュー (imbis_v_bam_time)
BAM時間テーブルからウエイト時間、処理時間を算出するビューです。
ウエイト時間は、該当ノードの処理が可能になってから処理を開始するまでの時間に該当します。
処理時間は、該当ノードの処理が可能になってから処理を完了するまでの時間に該当します。
「[サンプル6 \(BAM情報\) ノード別平均作業時間](#)」よりDDLをダウンロードして、ご利用の環境のDBに登録してください。



コラム

ワークフローのテーブル定義情報の詳細は、「[IM-Workflow テーブル定義書](#)」を参照してください。



コラム

BAMのテーブル定義情報の詳細は、「[BAMのテーブル情報](#)」を参照してください。

IM-BIS のBAM情報に対してクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリー一覧」をクリックします。
2. 「クエリー一覧」で「新規」をクリックします。

クエリー一覧

新規 コピー 削除 データ参照一覧へ

検索 クリア

データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
	ViewCreatorの設定テーブルを利用	517ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
	system_log	51b8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
	transition_log	51b8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
	【IMW】ノード滞留クエリ	51be72zj2x4rfpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
	【IMW】ノード滞留クエリ(担当者)	51be7327eumlvpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
	【サンプル1】特定フロー完了案件ク	51emao7u3kedu	default	2015/03/03 19:33	aoyagi	
	【サンプル2-1】フロー別滞留案件・処	51enf2wviu2i3a5	default	2015/03/04 20:30	aoyagi	
	【サンプル2-2】フロー別滞留案件・処	51eopxzrlmylg	default	2015/03/04 19:48	aoyagi	
	【サンプル3】ユーザ別滞留案件一覧	51emg5v1dkby7a5	default	2015/03/03 14:26	aoyagi	

3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

クエリ編集

新規作成 削除 SQL SQLの表示 Viewの作成 プレビュー

クエリ名(*) 【サンプル6】IMBIS BAMクエリ

説明 IMBIS BAMクエリです。

接続ID default

テーブル一覧

Exclude

テーブル ビュー

b_m_account_attr_b
b_m_account_b
b_m_account_dtf
b_m_account_role_b
b_m_account_theme
b_m_calendar_info_b
b_m_calendar_info_i
b_m_calendar_merge_b
b_m_calendar_week_b
b_m_day_info_b
b_m_day_info_i
b_m_day_info_set_b
b_m_day_info_set_i
b_m_link_category

追加 削除 上へ 下へ

抽出条件一覧(0) カラム一覧(0)

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
------	-----	---	-----	--------

4. 「テーブル一覧」のビュータブから下記のビューを検索し、ドラッグして右側に配置します。

- imbis_v_bam_time

クエリ編集

新規作成 削除 SQL SQLの表示 Viewの作成 プレビュー

クエリ名(*) 【サンプル6】IMBIS BAMクエリ

説明 IMBIS BAMクエリです。

接続ID default

テーブル一覧

Exclude

テーブル ビュー

b_m_account_attr_b
b_m_account_b
b_m_account_dtf
b_m_account_role_b
b_m_account_theme
b_m_calendar_info_b
b_m_calendar_info_i
b_m_calendar_merge_b
b_m_calendar_week_b
b_m_day_info_b
b_m_day_info_i
b_m_day_info_set_b
b_m_day_info_set_i
b_m_link_category

追加 削除 上へ 下へ

抽出条件一覧(0) カラム一覧(0)

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
------	-----	---	-----	--------

imbis_v_bam_time

flow_id
flow_name
node_id
node_name
user_code
wait_time
process_time
execute_month

5. 「カラム一覧」に下記のカラムを追加します。

一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imbis_v_bam_time
 - フローID (year_month)
 - フロー名 (flow_name)
 - ノードID (node_id)
 - ノード名 (node_name)
 - ユーザコード (user_code)
 - ウェイト時間 (wait_time)
 - 作業時間 (process_time)
 - 作業完了月 (execute_month)

The screenshot shows the 'Table List' window on the left and the 'Column List' window on the right. The 'Column List' window is titled 'imbis_v_bam_time' and contains the following columns: flow_id, flow_name, node_id, node_name, user_code, wait_time, process_time, and execute_month. Below the windows is a table with columns: テーブル, カラム, 型, ソート, and キャプション. The table contains four rows, all with 'imbis_v_bam_time' in the 'テーブル' column. The 'カラム' column contains 'flow_id', 'flow_name', 'node_id', and 'node_name'. The '型' column contains '文字列' for all rows. The 'ソート' column is empty for all rows. The 'キャプション' column contains 'フローID', 'フロー名', 'ノードID', and 'ノード名' respectively. The table is highlighted with a red box.

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imbis_v_bam_time	flow_id	文字列		フローID
imbis_v_bam_time	flow_name	文字列		フロー名
imbis_v_bam_time	node_id	文字列		ノードID
imbis_v_bam_time	node_name	文字列		ノード名

6. 追加が終わったら「登録」をクリックします。

The screenshot shows the 'Table List' window on the left and the 'Column List' window on the right. The 'Table List' window is titled 'テーブル一覧' and contains a list of tables. The 'Column List' window is titled 'imbis_v_bam_time' and contains the same columns as in the previous screenshot. Below the windows is a table with columns: テーブル, カラム, 型, ソート, and キャプション. The table contains four rows, all with 'imbis_v_bam_time' in the 'テーブル' column. The 'カラム' column contains 'flow_id', 'flow_name', 'node_id', and 'node_name'. The '型' column contains '文字列' for all rows. The 'ソート' column is empty for all rows. The 'キャプション' column contains 'フローID', 'フロー名', 'ノードID', and 'ノード名' respectively. The '登録' button is highlighted with a red box.

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imbis_v_bam_time	flow_id	文字列		フローID
imbis_v_bam_time	flow_name	文字列		フロー名
imbis_v_bam_time	node_id	文字列		ノードID
imbis_v_bam_time	node_name	文字列		ノード名

7. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

コラム

案件数が多くリスト集計の表示に時間がかかる場合は、バッチ処理にてビューで表示しているBAM処理時間を、別テーブルに格納することを検討してください。

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

1. クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
☐ imbis_v_bam_time	flow_id	文字列		フローID
☐ imbis_v_bam_time	flow_name	文字列		フロー名
☐ imbis_v_bam_time	node_id	文字列		ノードID
☐ imbis_v_bam_time	node_name	文字列		ノード名

2. データ参照名などの情報を入力します。
平均時間を算出するため、「集計パターン」を「サマリ」に変更します。

データ参照設定

データ参照コード: viewcreator_sample6

データ参照名: 【サンプル6】ノード別平均作業時間

クエリ名: 【サンプル6】IMBIS_BAMクエリ

集計パターン: サマリ

説明:

エクスポート機能の利用: ☒ 利用する

表示設定

枠線: ☐ 枠線を表示する

1行おきの背景色: ☐

表全体の幅: 0px

ヘッダー行の改行: ☐ 改行する

カラム一覧

計算式を追加 | カラムの国際化項目の編集

3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。
数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。
また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フローID(flow_id)	グループ化 ▼	☒		▼		
▲▼ フロー名(flow_name)	グループ化 ▼	☒		昇順 ▼		
▲▼ ノードID(node_id)	グループ化 ▼	☒		▼		
▲▼ ノード名(node_name)	グループ化 ▼	☒		昇順 ▼		
▲▼ ユーザコード(user_code)	▼	☐		▼		
▲▼ ウェイト時間(wait_time)	平均 ▼	☒	## 3桁 区切り	▼		
▲▼ 作業時間(process_time)	平均 ▼	☒	## 3桁 区切り	▼		
▲▼ 作業完了月(execute_month)	▼	☐		▼		

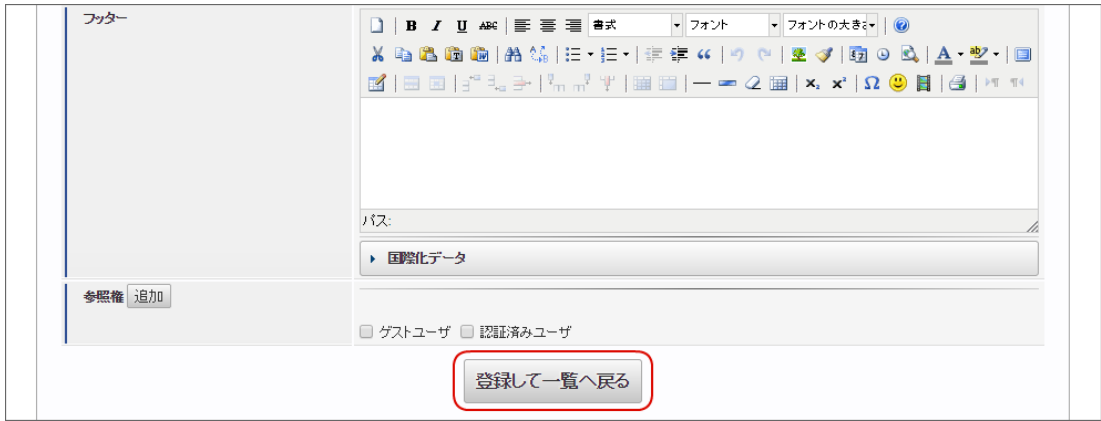
4. ノード単位平均を算出するため、「タイプ」を設定します。
 フロー名、フローID、ノード名、ノードIDを「グループ化」に変更します。
 ノード別に表示するため、「グループ化」対象の中で、ノード名を最も下の行となるように変更します。
 ウェイト時間、作業時間を「平均」に変更します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フローID(flow_id)	グループ化 ▼	☒		▼		
▲▼ フロー名(flow_name)	グループ化 ▼	☒		昇順 ▼		
▲▼ ノードID(node_id)	グループ化 ▼	☒		▼		
▲▼ ノード名(node_name)	グループ化 ▼	☒		昇順 ▼		
▲▼ ユーザコード(user_code)	▼	☐		▼		
▲▼ ウェイト時間(wait_time)	平均 ▼	☒	## 3桁 区切り	▼		
▲▼ 作業時間(process_time)	平均 ▼	☒	## 3桁 区切り	▼		
▲▼ 作業完了月(execute_month)	▼	☐		▼		

コラム

「表示設定」で、処理時間が長いカラムの文字色変更や表示非表示等の設定をすることができます。
 詳細な設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

1. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。



2. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照してください。

サンプル7 BAM情報から担当者別の平均作業時間の一覧を作成する

IM-BIS のBAM情報から担当者別の平均作業時間の一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルでできること
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

このサンプルについて

このサンプルでは、完了案件に対し、担当者毎の平均ウエイト時間、作業時間を算出します。

【サンプル7】担当者別平均作業時間						
← CSV出力		担当者別の平均作業時間(秒)を表示				
1						
フローID	フロー名	ノードID	ノード名	ユーザコード	ウエイト時間(平均)	処理時間(平均)
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フロー-A	6t9q20l0g16j9ix	タスク1	aoyagi	0	114.7
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フロー-A	6t9q20l0g16j9ix	タスク1	ikuta	0	275.4
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フロー-A	9rgd4y9s8dud8th	タスク2	katayama	1526	300.6
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】稟議書	yi7qbgqbvisqqhv	上長承認	katayama	370	16.6
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】稟議書	yi7qbgqbvisqqhv	上長承認	maruyama	400	31.8
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】稟議書	8pdbm3ed1lskzo5	申請	aoyagi	0	28
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】稟議書	8pdbm3ed1lskzo5	申請	ikuta	0	29
					312	103.2

どの担当者が作業に時間がかかっているかを確認できます

このサンプルでできること

- 各フローに対し、処理時間が長い担当者を確認することができます。
- 各フローに対し、処理の着手が遅い担当者を確認することができます。

クエリを作成する

サンプル6と同様のクエリを利用します。

作成方法は、「[クエリを作成する](#)」を参照してください。

リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

1. クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

The screenshot shows the 'Data Reference New Creation' button highlighted in red. The interface includes a list of tables on the left, a table of columns in the center, and a table of data references on the right. The 'Data Reference New Creation' button is located at the bottom right of the interface.

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imbis_v_bam_time	flow_id	文字列		フローID
imbis_v_bam_time	flow_name	文字列		フロー名
imbis_v_bam_time	node_id	文字列		ノードID
imbis_v_bam_time	node_name	文字列		ノード名

2. データ参照名などの情報を入力します。
平均時間を算出するため、「集計パターン」を「サマリ」に変更します。

The screenshot shows the 'Data Reference Edit List / Summary Collection' form. The 'Data Reference Settings' section is highlighted in red. The form includes fields for 'Data Reference Code', 'Data Reference Name', 'Query Name', 'Collection Pattern', 'Description', and 'Export Function Usage'. The 'Collection Pattern' is set to 'Summary'.

データ参照コード	viewcreator_sample7
データ参照名	【サンプル7】担当者別平均作業時間
クエリ名	【サンプル6】IMBIS_BAMクエリ
集計パターン	サマリ
説明	
エクスポート機能の利用	☒ 利用する

3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。
数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。
また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フローID(flow_id)	グループ化 ▼	☒		▼		
▲▼ フロー名(flow_name)	グループ化 ▼	☒		昇順 ▼		
▲▼ ノードID(node_id)	グループ化 ▼	☒		▼		
▲▼ ノード名(node_name)	グループ化 ▼	☒		昇順 ▼		
▲▼ ユーザコード(user_code)	グループ化 ▼	☒		昇順 ▼		
▲▼ ウェイト時間(wait_time)	平均 ▼	☒	## 3桁 区切り	▼		
▲▼ 作業時間(process_time)	平均 ▼	☒	## 3桁 区切り	▼		
▲▼ 作業完了月(execute_month)	▼	☐		▼		

4. 担当者単位平均を算出するため、「タイプ」を設定します。

フロー名、フローID、ノード名、ノードID、ユーザコードを「グループ化」に変更します。

ユーザ別に表示するため、「グループ化」対象の中で、ユーザコードを最も下の行となるように変更します。

ウェイト時間、作業時間を「平均」に変更します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フローID(flow_id)	グループ化 ▼	☒		▼		
▲▼ フロー名(flow_name)	グループ化 ▼	☒		昇順 ▼		
▲▼ ノードID(node_id)	グループ化 ▼	☒		▼		
▲▼ ノード名(node_name)	グループ化 ▼	☒		昇順 ▼		
▲▼ ユーザコード(user_code)	グループ化 ▼	☒		昇順 ▼		
▲▼ ウェイト時間(wait_time)	平均 ▼	☒	## 3桁 区切り	▼		
▲▼ 作業時間(process_time)	平均 ▼	☒	## 3桁 区切り	▼		
▲▼ 作業完了月(execute_month)	▼	☐		▼		

コラム

「表示設定」で、処理時間が長いカラムの文字色変更や表示非表示等の設定をすることができます。
詳細な設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

1. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。

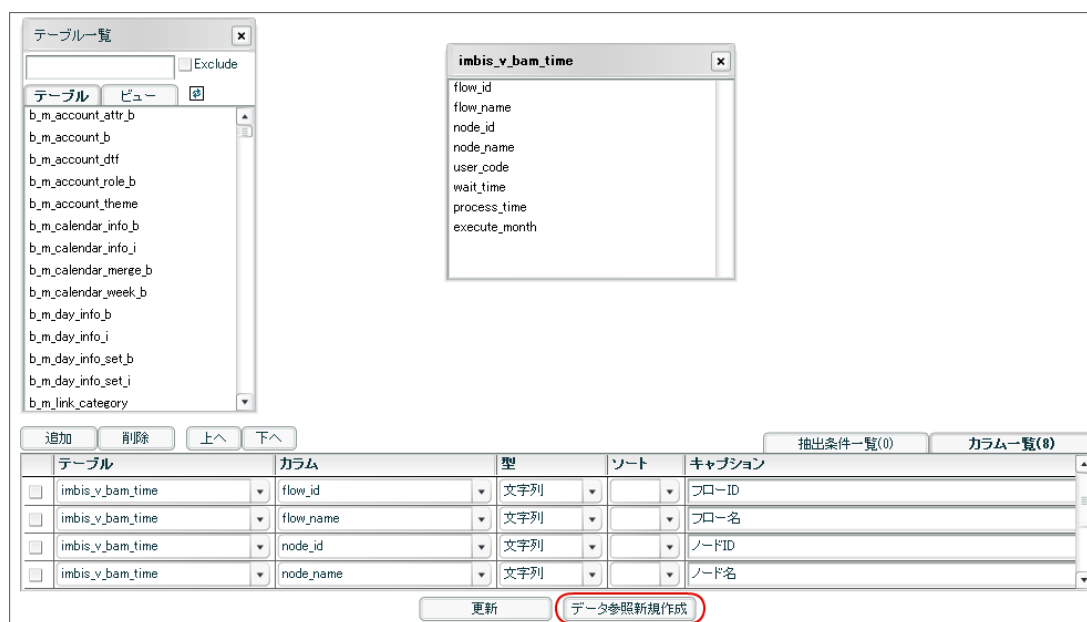
サンプル6と同様のクエリを利用します。

作成方法は、「[クエリを作成する](#)」を参照してください。

リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

- クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。



- データ参照名などの情報を入力します。
平均時間を算出するため、「集計パターン」を「サマリ」に変更します。

データ参照・編集リスト/サマリ集計

← 削除 編集

データ参照設定

データ参照コード* viewcreator_sample8

データ参照名* 【サンプル8】月別平均作業時間

国際化データ

クエリ名 【サンプル6】IMBIS_BAMクエリ

集計パターン サマリ ▼

説明

エクスポート機能の利用 ☒ 利用する

表示設定

枠線 ☐ 枠線を表示する

1行おきの背景色

表全体の幅 0px

ヘッダー行の改行 ☐ 改行する

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

- 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。
数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。
また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フローID(flow_id)	グループ化 ▼	☒		▼		
▲▼ フロー名(flow_name)	グループ化 ▼	☒		昇順 ▼		
▲▼ ノードID(node_id)	グループ化 ▼	☒		▼		
▲▼ ノード名(node_name)	グループ化 ▼	☒		昇順 ▼		
▲▼ ユーザコード(user_code)	▼	☐		▼		
▲▼ 作業完了月(execute_month)	グループ化 ▼	☒	yyyy/MM	昇順 ▼		
▲▼ ウェイト時間(wait_time)	平均 ▼	☒	## 3桁 区切り	▼		
▲▼ 作業時間(process_time)	平均 ▼	☒	## 3桁 区切り	▼		

4. 担当者単位平均を算出するため、「タイプ」を設定します。

フロー名、フローID、ノード名、ノードID、作業完了月を「グループ化」に変更します。

月別に表示するため、「グループ化」対象の中で、作業完了月を最も下の行となるように変更します。

ウェイト時間、作業時間を「平均」に変更します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フローID(flow_id)	グループ化 ▼	☒		▼		
▲▼ フロー名(flow_name)	グループ化 ▼	☒		昇順 ▼		
▲▼ ノードID(node_id)	グループ化 ▼	☒		▼		
▲▼ ノード名(node_name)	グループ化 ▼	☒		昇順 ▼		
▲▼ ユーザコード(user_code)	▼	☐		▼		
▲▼ 作業完了月(execute_month)	グループ化 ▼	☒	yyyy/MM	昇順 ▼		
▲▼ ウェイト時間(wait_time)	平均 ▼	☒	## 3桁 区切り	▼		
▲▼ 作業時間(process_time)	平均 ▼	☒	## 3桁 区切り	▼		

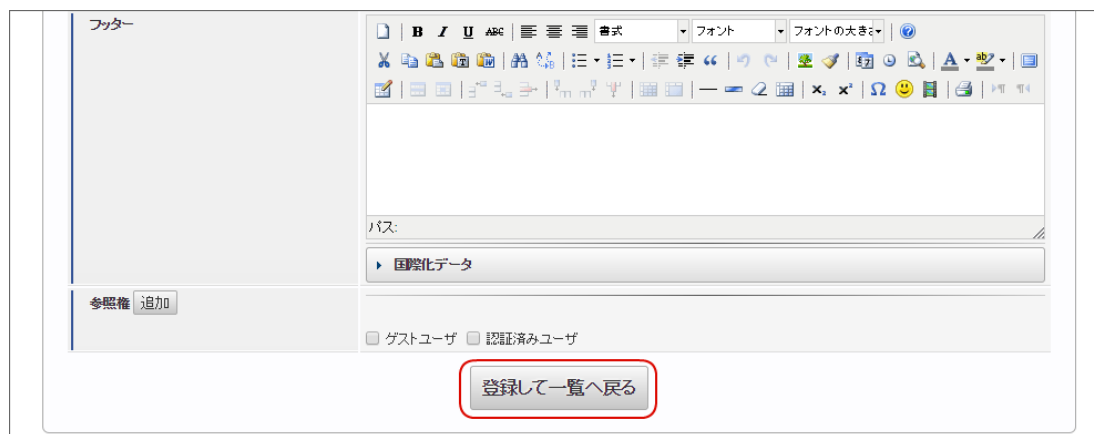


コラム

「表示設定」で、処理時間が長いカラムの文字色変更や表示非表示等の設定をすることができます。

詳細な設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

1. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。



2. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照してください。

ViewCreator / IM-FormaDesigner を連携して活用する方法をご紹介します。

サンプル9 Formaアプリの登録データの一覧を作成する

IM-FormaDesigner アプリの登録データの一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルでできること
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

このサンプルについて

このサンプルでは、特定の Formaアプリの登録データの一覧を ViewCreator で作成します。

作成した一覧の項目に、Formaアプリの更新・参照画面へのリンクを設定すると、リンクから案件の更新・参照画面を表示することができます。

本項では、Formaアプリのサンプルとして登録されている「【サンプル】備品管理(v8)」を例として、一覧を作成します。

The screenshot displays the ViewCreator interface for the '【サンプル9】備品管理登録データ一覧' (Sample 9 Inventory Management Registration Data List). The top navigation bar includes a 'CSV出力' (CSV Output) button and a '登録済みデータの一覧を表示' (Display List of Registered Data) button. The main table lists inventory items with columns: 登録データID, 備品名, 購入単位, 最低数量, and 価格. The first row is highlighted, and a red circle around the '登録データID' '5leosooznpuoa5' is annotated with '登録データIDをクリック' (Click Registration Data ID). A red arrow points from this ID to the '備品登録' (Inventory Registration) detail form on the right. The detail form has a title bar '対象データの更新・参照画面を表示' (Display Update/Reference Screen for Target Data) and a message '登録・更新する備品の情報を入力してください。*の項目は入力必須です。' (Please enter information for the inventory to be registered/updated. * indicates required fields). The form fields include: 備品名 (Note), ロケール (Japanese), メーカー (Manufacturer), 購入単位 (Unit), 最低数量 (Minimum Quantity: 10), 色 (Color), サイズ (Size), and 価格 (Price: 1,000 Yen). A blue box annotation states: '任意の項目を表示できます 表示項目に対し、サマリやグラフの表示も可能です' (You can display any item. For the display item, you can also display a summary or graph).

登録データID	備品名	購入単位	最低数量	価格
5leosooznpuoa5	ノート	1	10	1,000
5leosop15184a5	ボールペン	3	1	1,200
5leosop14...	付箋紙	2	1	800

このサンプルでできること

- ViewCreator から Formaアプリの更新・参照画面を表示するリンクを張ることができます。
- Formaアプリの登録データに対し、任意項目を表示し、サマリやグラフの表示ができます。

クエリを作成する

アプリケーションをViewCreatorから参照するために、ViewCreatorのクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリー一覧」をクリックします。
2. 「クエリー一覧」で「新規」をクリックします。

クエリー一覧

新規 一覧 削除 データ参照へ

検索 クリア

データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
	ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
	system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
	transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
	【サンプル1】特定フロー完了案件クエリ	5iemao7u3kedu	default	2015/03/02 15:54	aoyagi	
	【サンプル2】フロー別滞留案件・処理	5ien2wviu2i3a5	default	2015/03/03 14:25	aoyagi	
	【サンプル3】ユーザ別滞留案件一覧	5iemg5v1dkby7a5	default	2015/03/03 14:26	aoyagi	
	【サンプル4】処理対象者不在案件一	5ien2y7loxdja5	default	2015/03/02 10:13	aoyagi	
	【サンプル5】月別案件件数クエリ	5iemg6onzmt3d	default	2015/03/02 10:13	aoyagi	
	【サンプル6】IMBIS BAMクエリ	5iemgn8nnxyxx	default	2015/03/02 10:13	aoyagi	

3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

クエリ編集

新規作成 削除 SQL SQLの表示 Viewの作成 プレビュー

クエリ名(*) 【サンプル9】備品管理クエリ

説明 備品管理のクエリです。

接続ID default

テーブル一覧

Exclude

テーブル ビュー

b_m_account_attr_b
b_m_account_b
b_m_account_dtt
b_m_account_role_b
b_m_account_theme
b_m_calendar_info_b
b_m_calendar_info_i
b_m_calendar_merge_b
b_m_calendar_week_b
b_m_day_info_b
b_m_day_info_i
b_m_day_info_set_b
b_m_day_info_set_i
b_m_link_category

追加 削除 上へ 下へ

抽出条件一覧(0) カラム一覧(0)

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
------	-----	---	-----	--------

4. 「テーブル一覧」から下記のアプリケーションのテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。
 - imfr_ut_sample_app_equipment

クエリ編集

新規作成 削除 SQL SQLの表示 Viewの作成 プレビュー

クエリ名(*) 【サンプル9】備品管理クエリ

説明 備品管理のクエリです。

接続ID default

テーブル一覧

Exclude

テーブル ビュー

b_m_account_attr_b
b_m_account_b
b_m_account_dtt
b_m_account_role_b
b_m_account_theme
b_m_calendar_info_b
b_m_calendar_info_i
b_m_calendar_merge_b
b_m_calendar_week_b
b_m_day_info_b
b_m_day_info_i
b_m_day_info_set_b
b_m_day_info_set_i
b_m_link_category

imfr_ut_sample_app_equipment

imfr_sd_insert_id
imfr_sd_application_id
imfr_sd_application_no
imfr_sd_version_no
imfr_sd_create_date
imfr_sd_create_user_cd

追加 削除 上へ 下へ

抽出条件一覧(0) カラム一覧(0)

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
------	-----	---	-----	--------

コラム

アプリケーションのテーブル名の確認方法は、「[アプリケーションのテーブル情報を確認する](#)」を参照してください。

- 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。
一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。
 - imfr_ut_sample_app_equipment
 - データ登録ID (imfr_sd_insert_id)
 - その他に一覧に表示したい項目に対応する入力項目のカラム

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_sd_insert_id	文字列		登録データID
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_ud_equipment_name	文字列		備品名
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_ud_purchase_unit	文字列		購入単位
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_ud_minimum_quantity	数値		最低数量

コラム

「imfr_sd_insert_id」は、IM-FormaDesigner のアプリケーションのテーブルの「データ登録ID」が格納されるカラムです。
ViewCreatorのリスト集計画面を表示する場合には、このカラムの値に基づいてリンクさせる必要があります。

- 追加が終わったら「登録」をクリックします。

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_sd_insert_id	文字列		登録データID
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_ud_equipment_name	文字列		備品名
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_ud_purchase_unit	文字列		購入単位
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_ud_minimum_quantity	数値		最低数量

- 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

リストに表示する項目から IM-FormaDesigner の更新・参照画面を表示できるように、リンクを設定します。

1. クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

2. データ参照名などの情報を入力します。

3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。
また、数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
登録データID(imfr_sd_insert_id)	プログラム	☒			imfr_insert_id	
備品名(imfr_ud_equipment_name)		☒				
購入単位 (imfr_ud_purchase_unit)		☒				
最低数量(imfr_ud_minimum_quantity)		☒	# 3 桁区切り			
価格(imfr_ud_price)		☒	### 3 桁区切り			

4. 登録データIDのカラム「imfr_sd_insert_id」から IM-FormaDesigner の更新・参照画面画面を表示できるように、リンクを設定します。

リンクを設定するために「imfr_sd_insert_id」のタイプを「プログラム」に変更します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
登録データID(imfr_sd_insert_id)	プログラム	☒			imfr_insert_id	
備品名(imfr_ud_equipment_name)		☒				
購入単位 (imfr_ud_purchase_unit)		☒				
最低数量(imfr_ud_minimum_quantity)		☒	# 3 桁区切り			
価格(imfr_ud_price)		☒	### 3 桁区切り			

5. リンク先として、IM-FormaDesigner の更新・参照画面を呼び出すためのパスを設定します。

「」をクリックし、連携プログラムパスにリンクする IM-FormaDesigner の更新・参照画面のパスを入力し、「OK」をクリックします。

連携プログラムの設定

連携プログラムパス: forma/normal/view/edit_application_view/sample_app_equipment

ターゲットウィンドウ: _self

formのaction属性に設定する ☒ href属性に設定する ☐

OK

設定する画面 連携プログラムパス

更新画面 forma/normal/view/edit_application_view/%アプリケーションID%

設定する画面	連携プログラムパス
参照画面	forma/normal/view/refer_application_view/%アプリケーションID%

6. パラメータ名を以下の通りに設定します。

カラム	設定値
データ登録ID (imfr_sd_insert_id)	imfr_insert_id



コラム

- パラメータ名は大文字・小文字を区別しています。
- パラメータ名は必ず小文字で「imfr_sd_insert_id」または「imfr_insert_id」を設定してください。大文字で、または異なる名称で設定した場合には、リンクが正しく生成されません。

7. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。

8. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。



注意

- IM-FormaDesigner で作成された標準アプリケーションの参照画面を呼び出した際に、そのユーザに対象のIM-FormaDesigner のアプリケーションの参照権限がない場合、参照画面は表示されません。
- ViewCreator のデータ参照画面から IM-FormaDesigner の参照画面へ遷移した後、IM-FormaDesigner の戻るリンクや戻るボタンによってViewCreator のデータ参照画面に戻ることはできません。



コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照してください。

ViewCreator の設定データダウンロード

ViewCreator の設定データをダウンロードすることができます。

Zipファイル形式で圧縮しておりますので、解凍してからご利用ください。

設定データのインポート方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

コラム

クエリの設定データの接続IDは「default」に設定されています。
インポート後に、ご利用の環境に合わせて、接続先IDを変更してください。

コラム

このサンプルは、フロー名、同一フローで作成された案件名、また、同一ルート内のノード名が一意となっていることを前提としています。
同一の名称を利用している場合、ViewCreatorのデータ参照編集画面のグループ化設定で、同一グループと判断されます。
意図しないグループ化がされている場合は、リスト集計画面にて、グループ化の設定を見直してください。

コラム

このサンプルは、未完了案件20万件、完了案件20万件のデータが存在する想定で、動作を確認しています。
データ件数が想定より多く、表示に時間がかかる場合は、各サンプルの作成手順内に記載されている改善を検討してください。

注意

このサンプルは、intra-mart Accel Platform 2014 Winter以降のバージョンの環境で利用することができます。

サンプル1 特定フロー完了案件一覧

「[サンプル1 特定のフローの完了案件一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

[query_sample1.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample1.zip](#)

サンプル2 フロー別滞留案件一覧

「[サンプル2 フロー別の滞留案件の一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

[query_sample2.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample2.zip](#)

サンプル3 ユーザ別滞留案件一覧

「[サンプル3 ユーザ別の滞留案件の一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample3.zip](#)

サンプル4 処理対象者不在案件一覧

「[サンプル4 処理対象者が不在の案件一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

[query_sample4.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample4.zip](#)

サンプル5 月別案件推移グラフ

「[サンプル5 月別の案件推移グラフを作成する](#)」にて作成した設定データ

- DDL（各DB環境用のDDLを利用してViewを作成）

[sample5-ddl.zip](#)

- クエリの設定データ

[query_sample5.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample5.zip](#)

サンプル6 （BAM情報）ノード別平均作業時間

「[サンプル6 BAM情報からノード別の平均作業時間の一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- DDL（各DB環境用のDDLを利用してViewを作成）

[sample6-ddl.zip](#)

- クエリの設定データ

[query_sample6.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample6.zip](#)

サンプル7 （BAM情報）担当者別平均作業時間

「[サンプル7 BAM情報から担当者別の平均作業時間の一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample7.zip](#)

サンプル8 （BAM情報）月別平均作業時間

「[サンプル8 BAM情報から月別の平均作業時間の一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample8.zip](#)

「[サンプル9 Formaアプリの登録データの一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

[query_sample9.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample9.zip](#)

IM-BIS のフローの案件データのテーブル情報を確認する

フローの案件データのテーブル情報を確認します。

1. サイトマップ→「IM-BIS」→「IM-BIS作成」→「IM-BIS」をクリックします。
2. 「一覧」をクリックします。



3. 対象のフローの  をクリックします。



4. 「テーブル設定」をクリックします。



5. 「参照」をクリックします。

テーブル設定

アプリケーションID: 5ibctyhszhwni2j
アプリケーション名: 薬譜フロー

アプリケーション情報 フォーム設定 **テーブル設定** WF連携設定

更新 削除

参照	種別	対象ID	テーブル名
	ヘッダー	imfr_form	imfr_ut_5ibctyhszhwni2j

6. テーブル名、データを取得する対象の列名を確認します。

テーブル設定

アプリケーションID: 5ibctyhszhwni2j
アプリケーション名: 薬譜フロー
種別: ヘッダー
テーブル名: imfr_ut_5ibctyhszhwni2j

主キー	列名	データ型	データサイズ	データサイズ(小数部)	サイズ変更
	imfr_sd_insert_id	文字列	20		
	imfr_sd_application_id	文字列	100		
	imfr_sd_application_no	数値	10	0	
	imfr_sd_version_no	数値	10	0	
	imfr_sd_create_date	タイムスタンプ			
	imfr_sd_create_user_cd	文字列	100		
	imfr_sd_record_date	タイムスタンプ			
	imfr_sd_record_user_cd	文字列	100		
	imfr_sd_preserve_flag	文字列	1		
	imfr_ud_ringl_no	文字列	500		
	imfr_ud_ringl_subject	文字列	500		
	imfr_ud_payment	数値	18	5	
	imfr_ud_paymentmethod	文字列	500		
	imfr_ud_ringl_content	文字列	2000		
	imfr_ud_outcome	文字列	2000		

アプリケーションのテーブル情報を確認する

Formaアプリケーションのテーブル情報を確認します。

1. サイトマップ→「Forma管理画面」→「Formaアプリ作成」→「アプリ一覧」をクリックします。
2. 対象のアプリの  をクリックします。

アプリケーション一覧

登録

アプリケーション名: 検索 クリア

編集	アプリケーションID	最新バージョン	アプリケーション名	備考	対象国/地域	アプリケーション種別
	sample_address_chg	1	【サンプル】住所等変更届	IM-Workflow連携用の申請書サンプル	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	IM-Workflow
	sample_app_equipment	1	【サンプル】備品管理 (v8)	購入申請で利用できる備品を管理します。	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	標準
	sample_bihin_mochidas	1	【サンプル】備品持出申請書	一覧選択アイテムを利用した一般的な申請	日本語 英語 中国語	IM-Workflow

3. 「テーブル設定」をクリックします。

フォーム設定

アプリケーションID: sample_app_equipment
アプリケーション名: 【サンプル】備品管理(v8)

アプリケーション情報 フォーム設定 **テーブル設定** 権限設定 メニュー設定 一覧表示項目設定 管理会社設定

登録

アプリケーション履歴一覧

編集	アプリケーション履歴番号	有効日付(開始)	有効日付(終了)	備考	更新日
	1	2012/07/01	2999/12/31		2014/08/26

4. 「参照」をクリックします。

テーブル設定

アプリケーションID: sample_app_equipment
アプリケーション名: 【サンプル】備品管理(v8)

アプリケーション情報 フォーム設定 **テーブル設定** 権限設定 メニュー設定 一覧表示項目設定 管理会社設定

更新 削除

参照

参照	種別	対象ID	テーブル名
	ヘッダー	imfr_form	imfr_ut_sample_app_equipment

5. テーブル名、データを取得する対象の列名を確認します。

テーブル設定

アプリケーションID: sample_app_equipment
アプリケーション名: 【サンプル】備品管理(v8)
種別: ヘッダー
テーブル名: imfr_ut_sample_app_equipment

主キー	列名	データ型	データサイズ	データサイズ(小数部)	サイズ変更
	imfr_sd_insert_id	文字列	20		
	imfr_sd_application_id	文字列	100		
	imfr_sd_application_no	数値	10	0	
	imfr_sd_version_no	数値	10	0	
	imfr_sd_create_date	タイムスタンプ			
	imfr_sd_create_user_cd	文字列	100		
	imfr_sd_record_date	タイムスタンプ			
	imfr_sd_record_user_cd	文字列	100		
	imfr_sd_preserve_flag	文字列	1		
	imfr_ud_color	文字列	100		
	imfr_ud_equipment_name	文字列	100		
	imfr_ud_maker	文字列	100		
	imfr_ud_purchase_unit	文字列	100		
	imfr_ud_minimum_quantity	数値	10	0	
	imfr_ud_size	文字列	100		
	imfr_ud_price	数値	10	0	
	imfr_ud_company	文字列	100		
	imfr_ud_additional_description	文字列	100		
	imfr_ud_locale	文字列	100		

IM-Workflow の詳細画面への遷移URL

IM-Workflow の詳細画面へのリンクを設定するためのリクエストURLについて説明します。
リクエストパラメータのページ種別によって、遷移先画面を変更することができます。

- リクエストURL

```
im_workflow/common/switch/switch_content_detail
```

- リクエストパラメータ

KEY	設定値	説明
imwSystemMatterId	システム案件ID	遷移したい案件のシステム案件ID
imwUserDataId	データ登録ID (ユーザデータID)	遷移したい案件のデータ登録ID
imwPageType	ページ種別	遷移したい詳細画面の種別



コラム

システム案件IDとデータ登録IDについては、「[IM-Workflow プログラミングガイド](#)」-「3.1 ユーザアプリケーションデータとIM-Workflow の関係」を参照してください。

- 詳細画面のページ種別

設定値	説明
6	処理詳細画面
7	参照詳細画面
8	確認詳細画面
9	過去案件詳細



コラム

各ユーザ画面については、「[IM-Workflow 仕様書](#)」-「3.4 ユーザ画面」を参照してください。



注意

「案件の処理者」または「参照者」のみ詳細画面の参照が可能です。
「管理者権限」のみを持っているユーザでは、ワークフロー画面以外からの参照はできません。

IM-BIS の履歴画面への遷移URL

IM-BIS の履歴画面へのリンクを設定するためのリクエストURLについて説明します。

- リクエストURL

```
bis/common/parts/history/history
```

- リクエストパラメータ

KEY	設定値	説明
imwSystemMatterId	システム案件ID	遷移したい案件のシステム案件ID



コラム

IM-BIS の履歴画面については、「[IM-BIS ユーザ 操作ガイド](#)」-「[履歴を参照する](#)」を参照してください。



注意

「案件の処理者」または「参照者」のみ履歴画面の参照が可能です。

「管理者権限」のみを持っているユーザでは、ワークフロー画面以外からの参照はできません。